

尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査 結果報告書

令和元年7月

【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	13
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	45

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「第6次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するため、毎年アンケート調査を実施しているものです。

2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域
調査対象 : 22歳以上80歳以下の市民から1,000人を無作為抽出
調査時期 : 平成31年2月
配布数 : 1,000票
回収数 : 405票
回収率 : 40.5%

3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

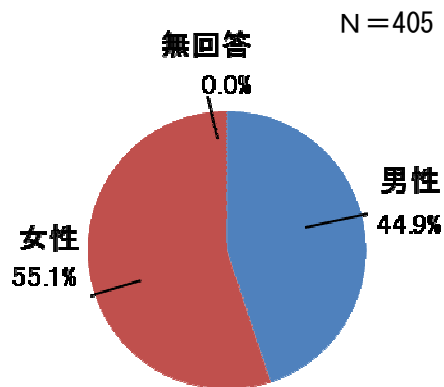
グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II. 調査の結果

1. 回答者について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

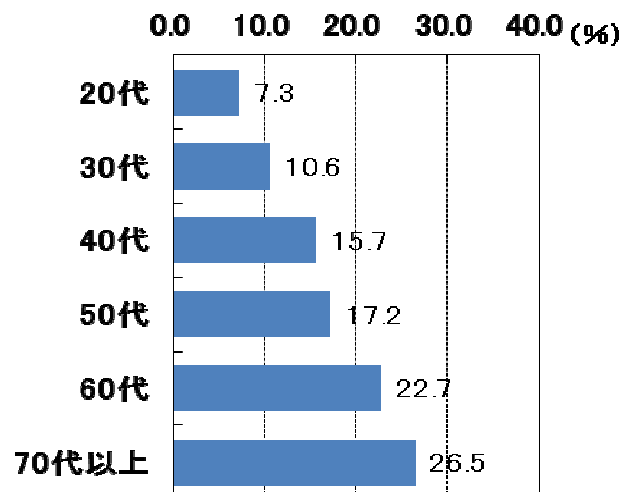
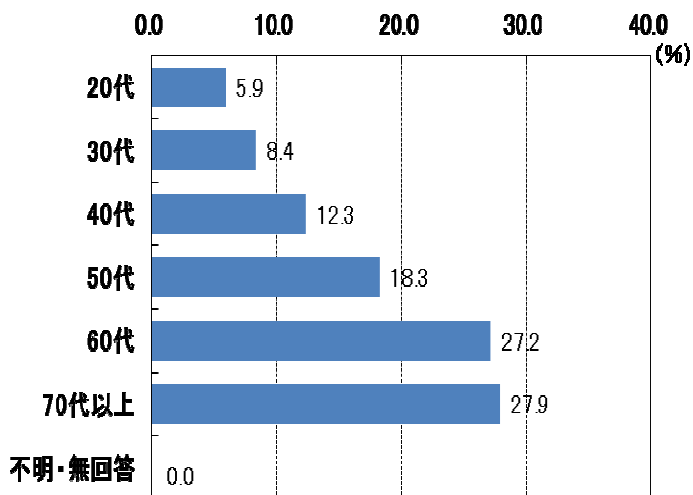
回答者の性別は、「女性」が55.1%、「男性」が44.9%、無回答が0.0%となっています。



問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が27.2%、「70代以上」が27.9%と、60代以上が約5.5割を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、「50代」「60代」「70代」で実際の割合より高く、その他の年代では低くなっています。

N = 405

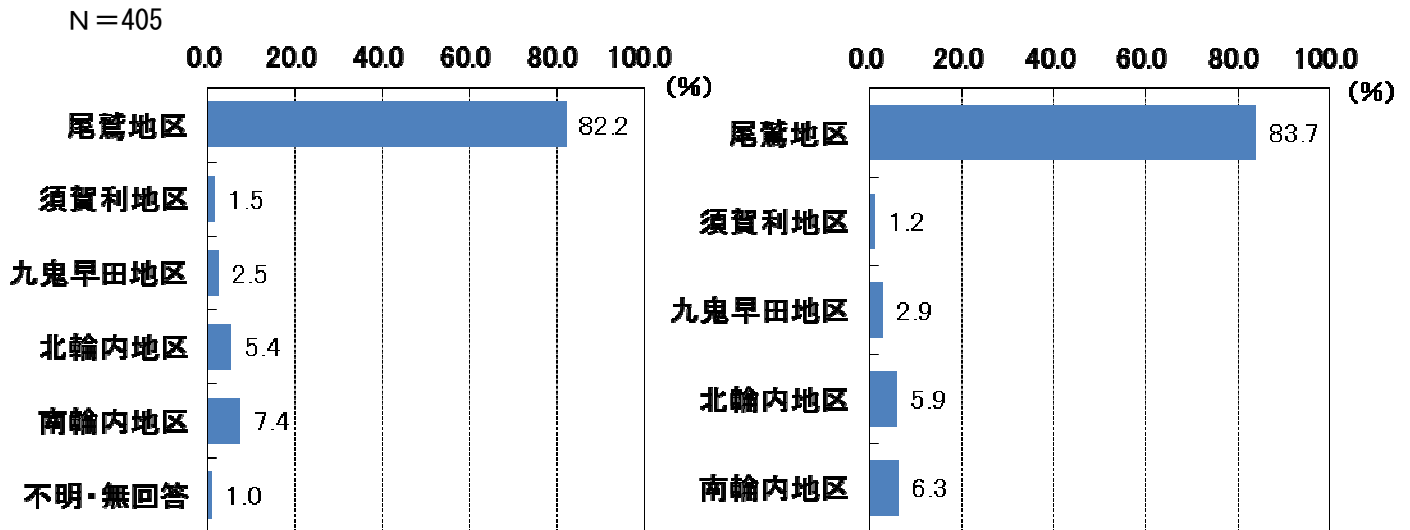


(参考) : 住民基本台帳平成31年2月現在

※調査対象である22歳以上の人口の年齢構成比。

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

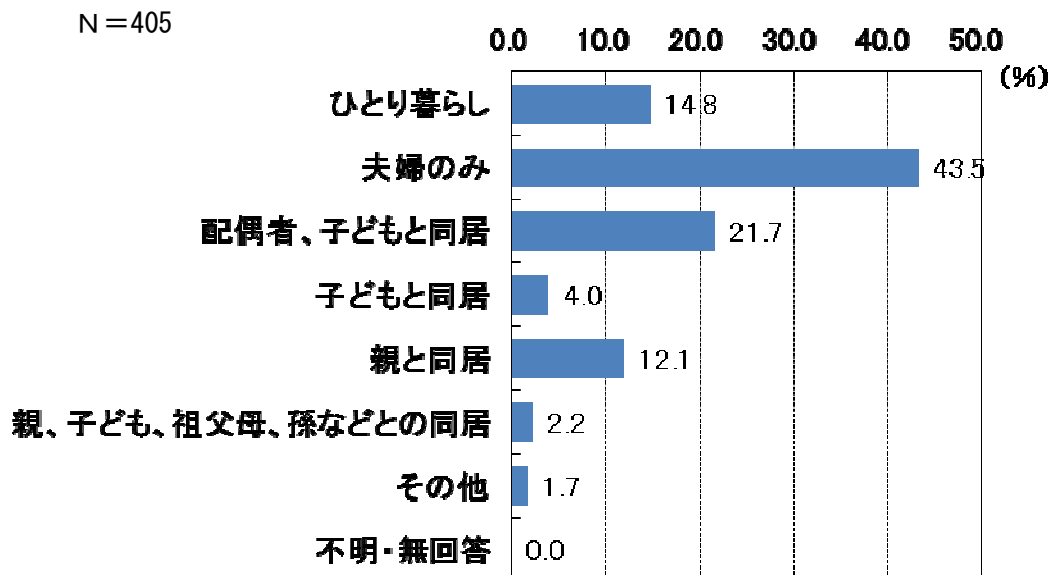
回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 82.2%と大半を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較しても、ほぼ同じ割合となっています。



(参考)：住民基本台帳平成 31 年 2 月現在

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

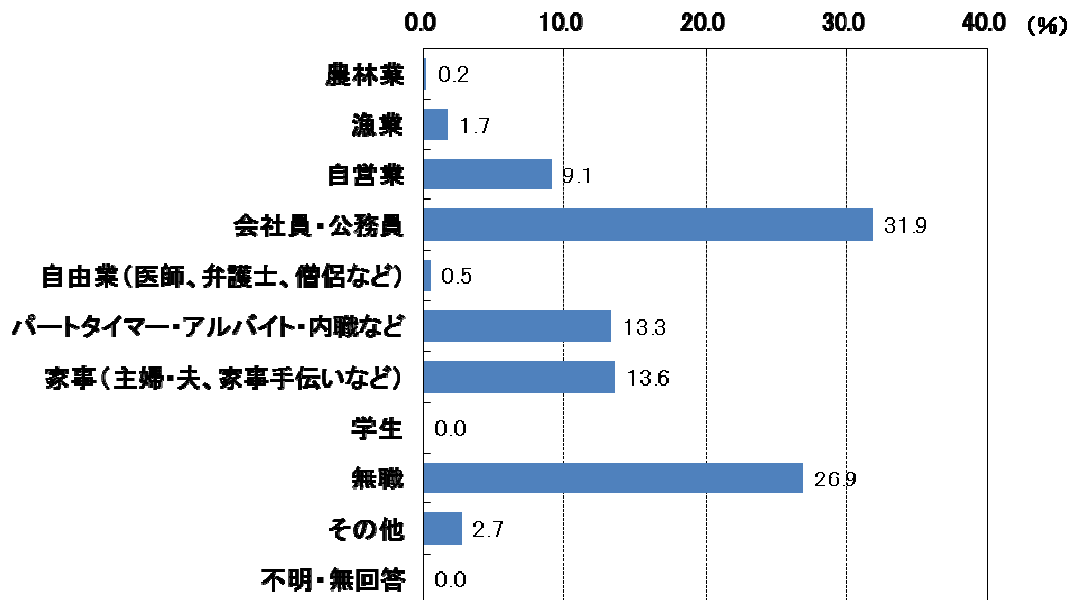
回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 43.5%、「配偶者、子どもと同居」が 21.7%、「ひとり暮らし」が 14.8%となっています。



問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「会社員・公務員」が31.9%、「無職」が26.9%、「家事（主婦・夫、家事手伝いなど）」が13.6%となっています。

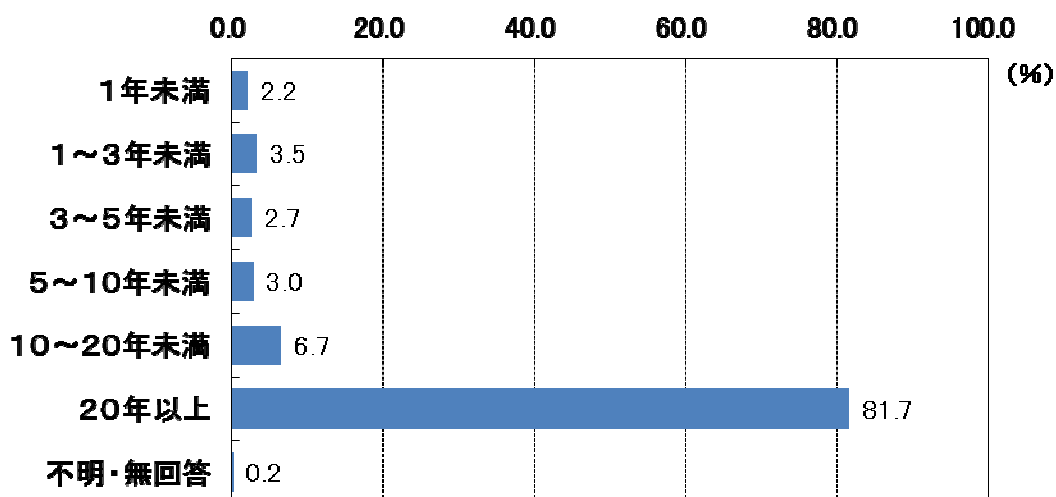
N=405



問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

回答者の居住年数は、「20年以上」が81.7%と大半を占めています。

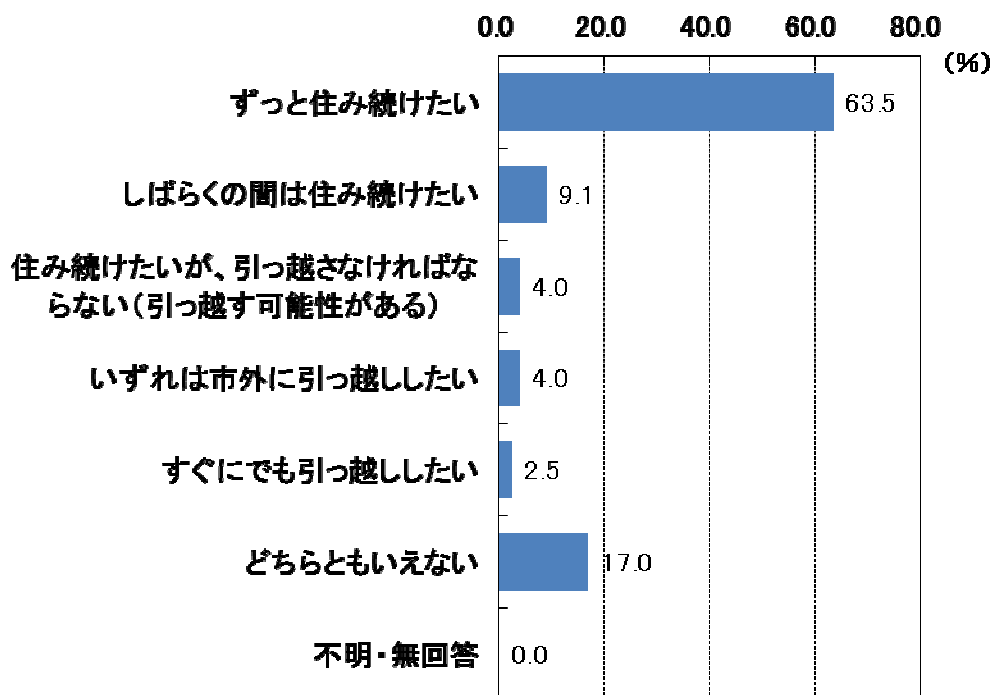
N=405



2. 本市での生活について

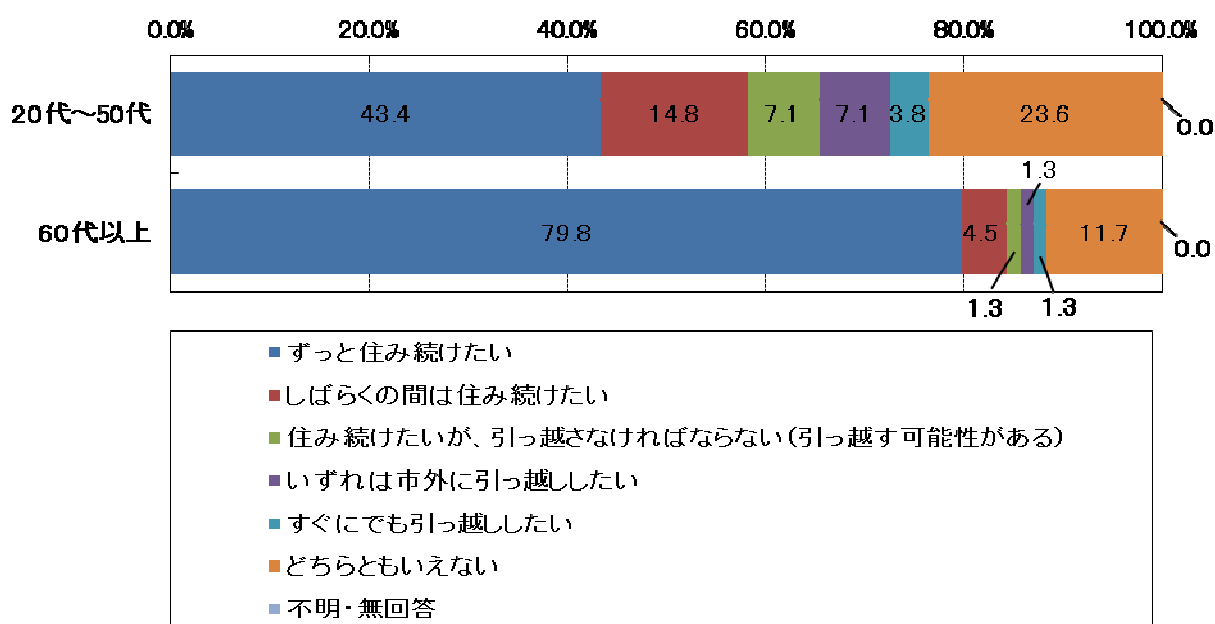
問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が63.5%、「しばらくの間は住み続けたい」が9.1%と、「住み続けたい」と答えた方が合計で72.6%と4分の3近くを占めています。



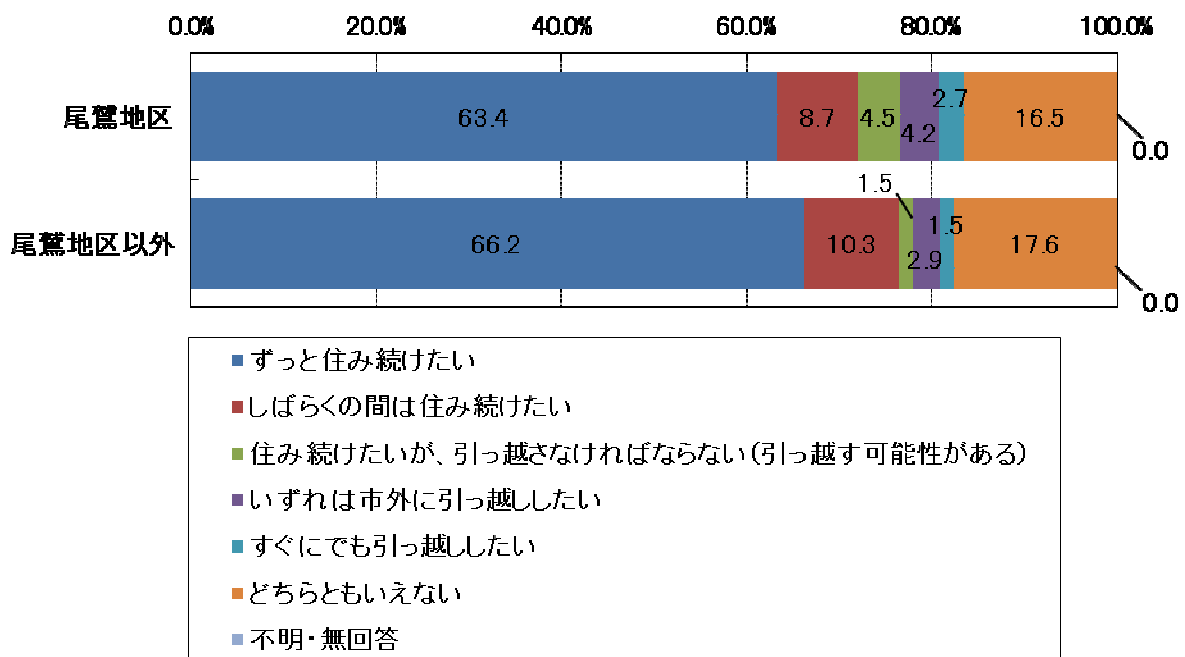
問7×年代

定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では75%を越えているのに対し、「20代～50代」では40%強であり、年代による差が見られます。



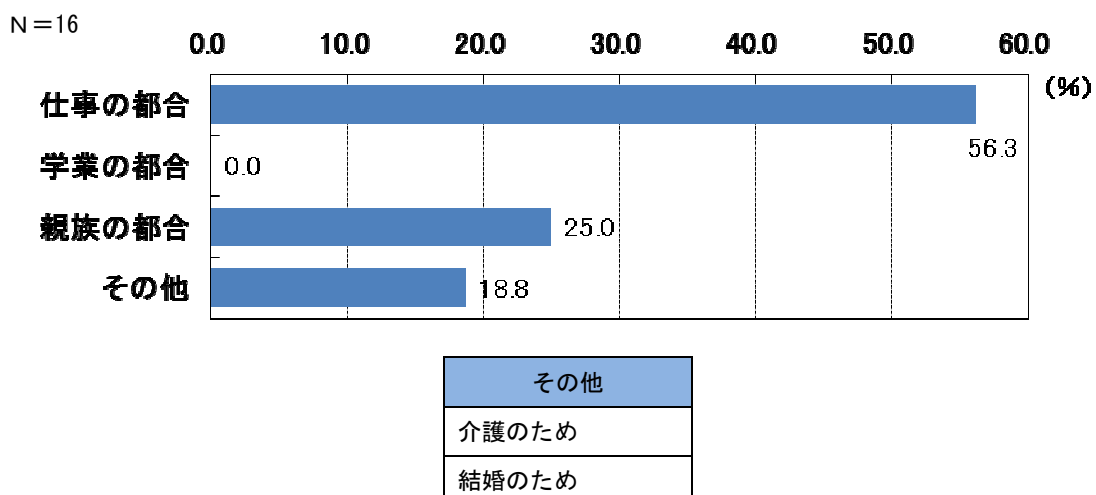
問7×居住地区

定住意向を地区別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「尾鷲地区以外」の方が若干高くなっています。



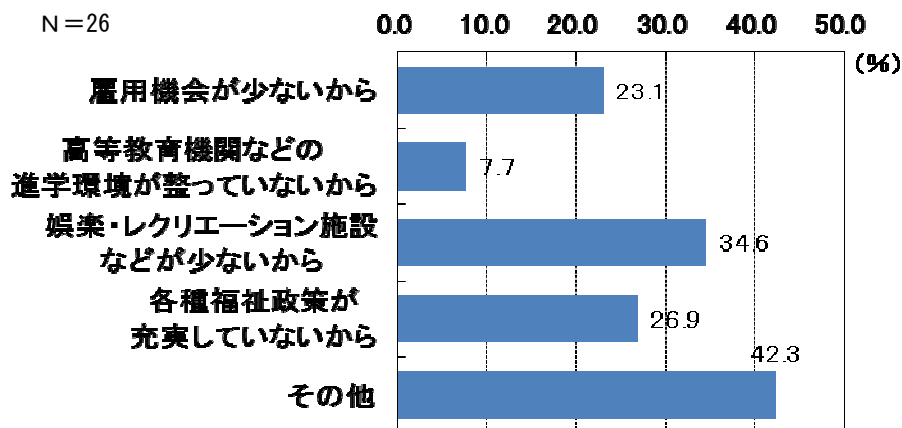
問8 【問7で「住み続けたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

引っ越さなければならない理由は、「仕事の都合」が 56.3%で最も多く、次いで「親族の都合」が 25.0%となっています。



問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。

引っ越したい理由は、「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」が34.6%、「各種福祉政策が充実していないから」が26.9%となっています。

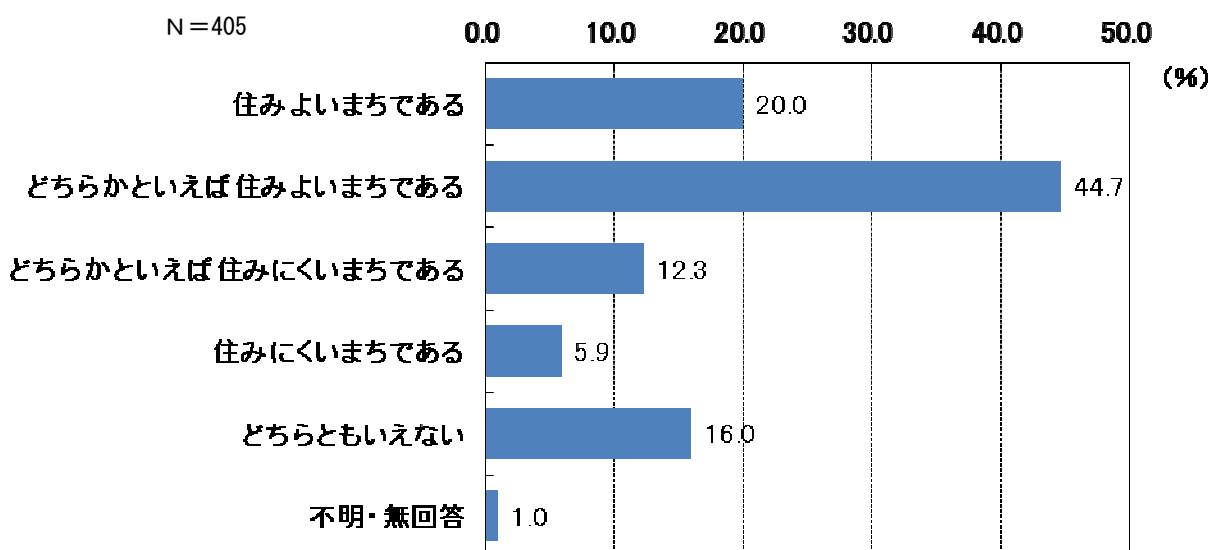


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
医療機関に不安があるから
地震等災害対策に不安があるから
交通の便が悪い
仕事がない

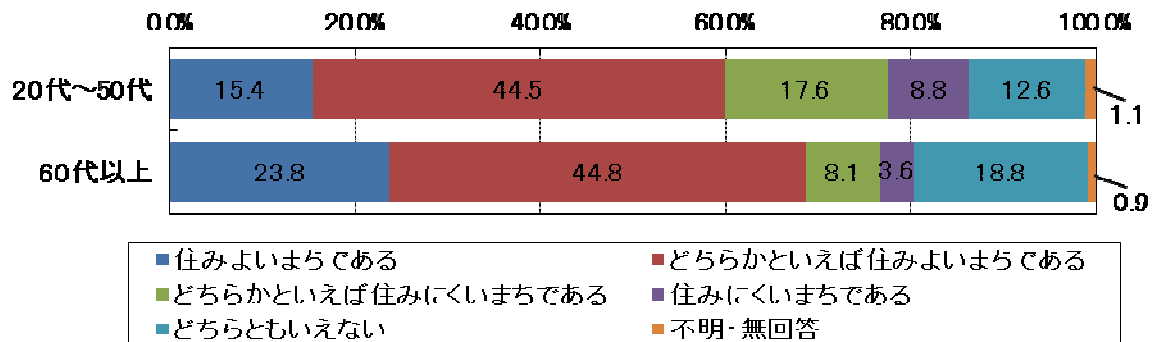
問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が44.7%、「住みよいまちである」が20.0%となっており、合計で64.7%が「住みよいまち」としています。



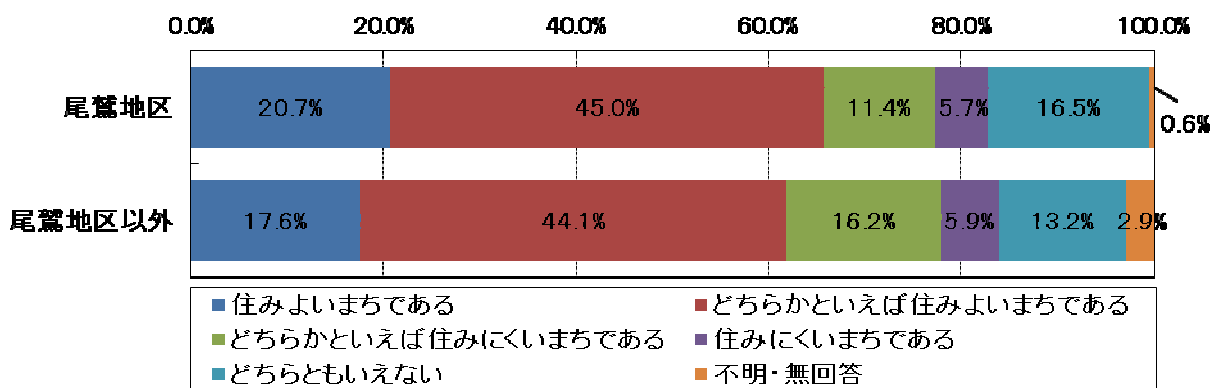
問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では7割弱であるのに対し、「20代～50代」では6割弱であり、年代による差が若干見られます。



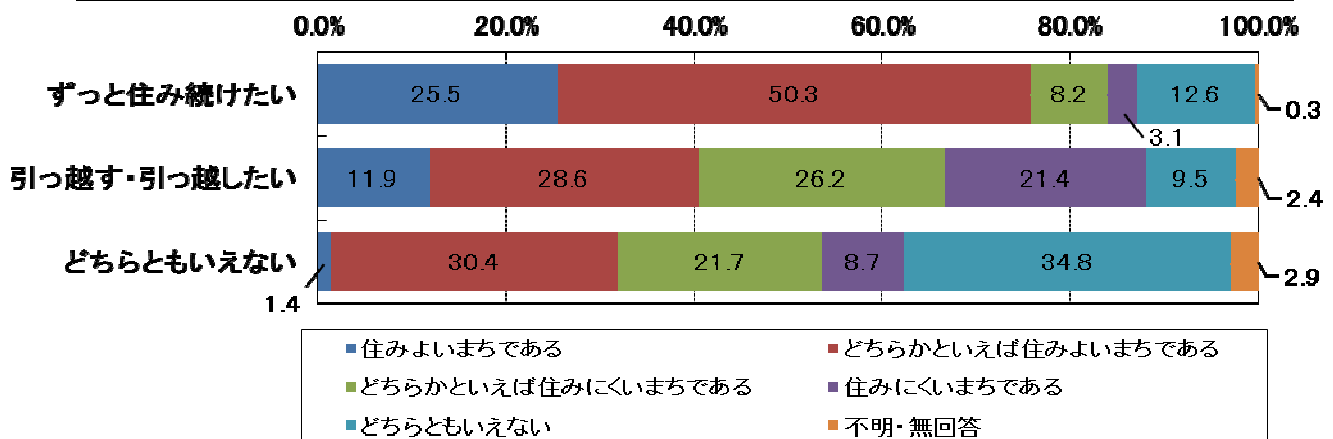
問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、いずれの地区でも6割を越えています。



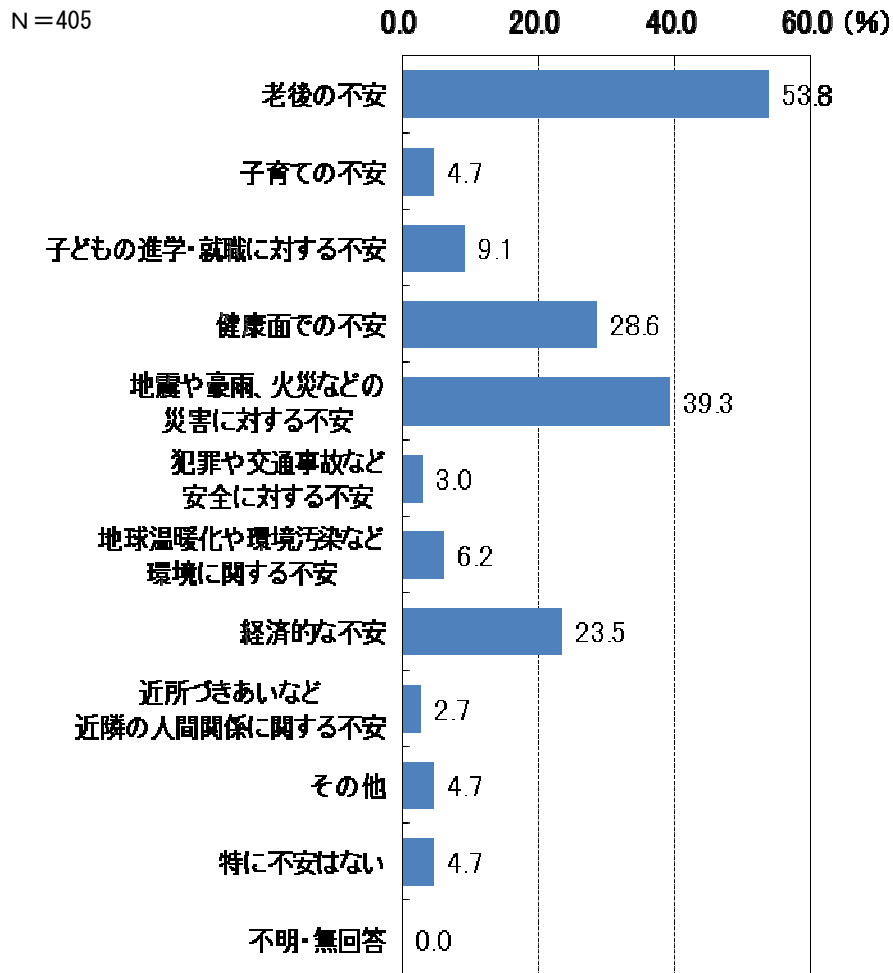
問 10×定住意向

尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では7割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では約4割にとどまり、定住意向による差が見られます。



問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

現在不安に感じていることとして、「老後の不安」が 53.8%、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が 39.3%、「健康面での不安」が 28.6%となっています。

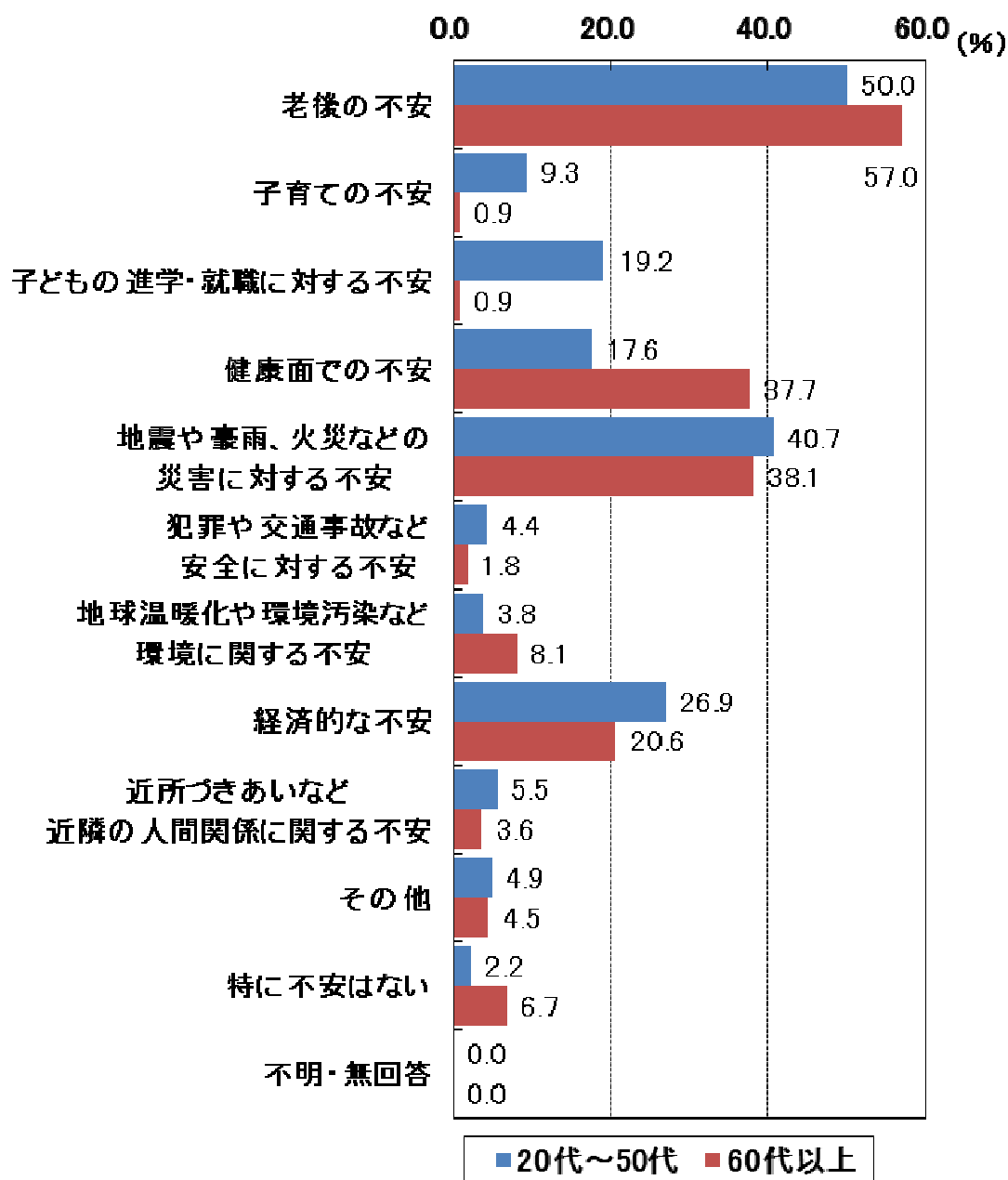


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
医療が発展しないため不安	水道民営化や、産廃受入の不安
仕事がなくならないか不安	少子、高齢化社会への不安

問 11×年代

現在不安に感じていることを年代別に見ると、全年代で「老後の不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」の割合が高くなっています。

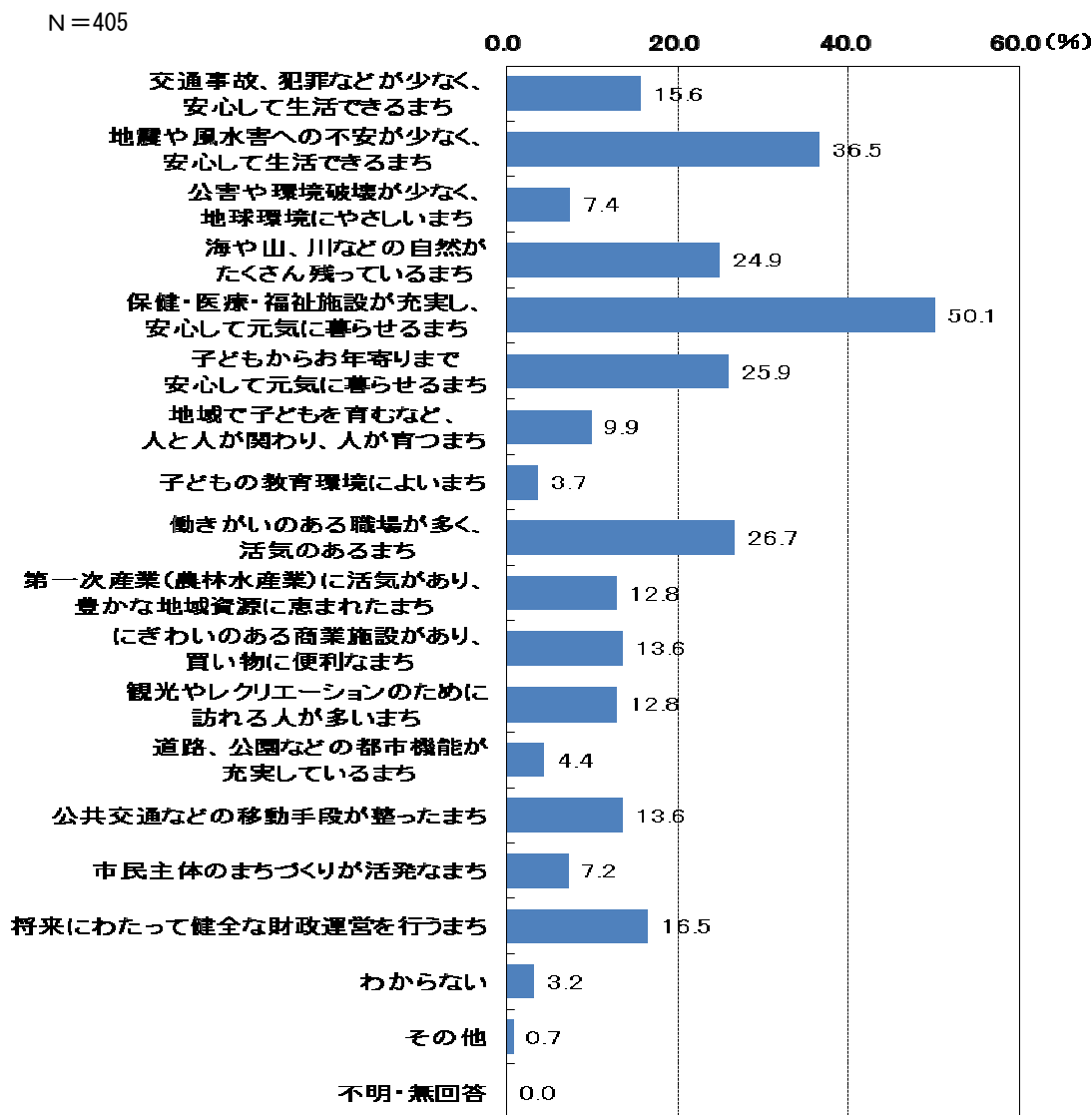


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
(複数回答)

尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が 50.1%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が 36.5%、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が 26.7%となっています。

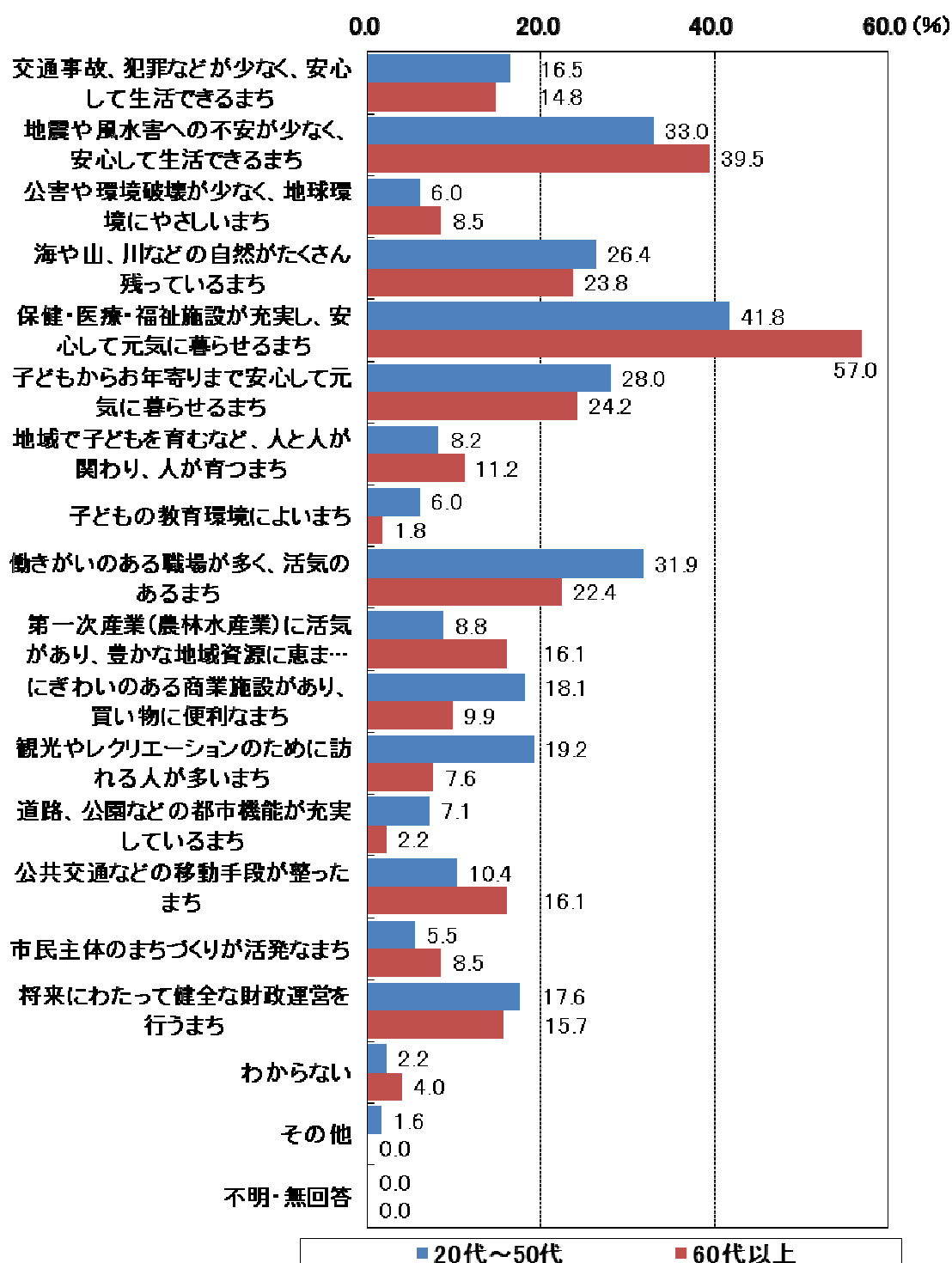


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
子供たちがわいわい楽しそうにしているまち
教育制度(子育て支援)に力を入れるまち

問 12×年代

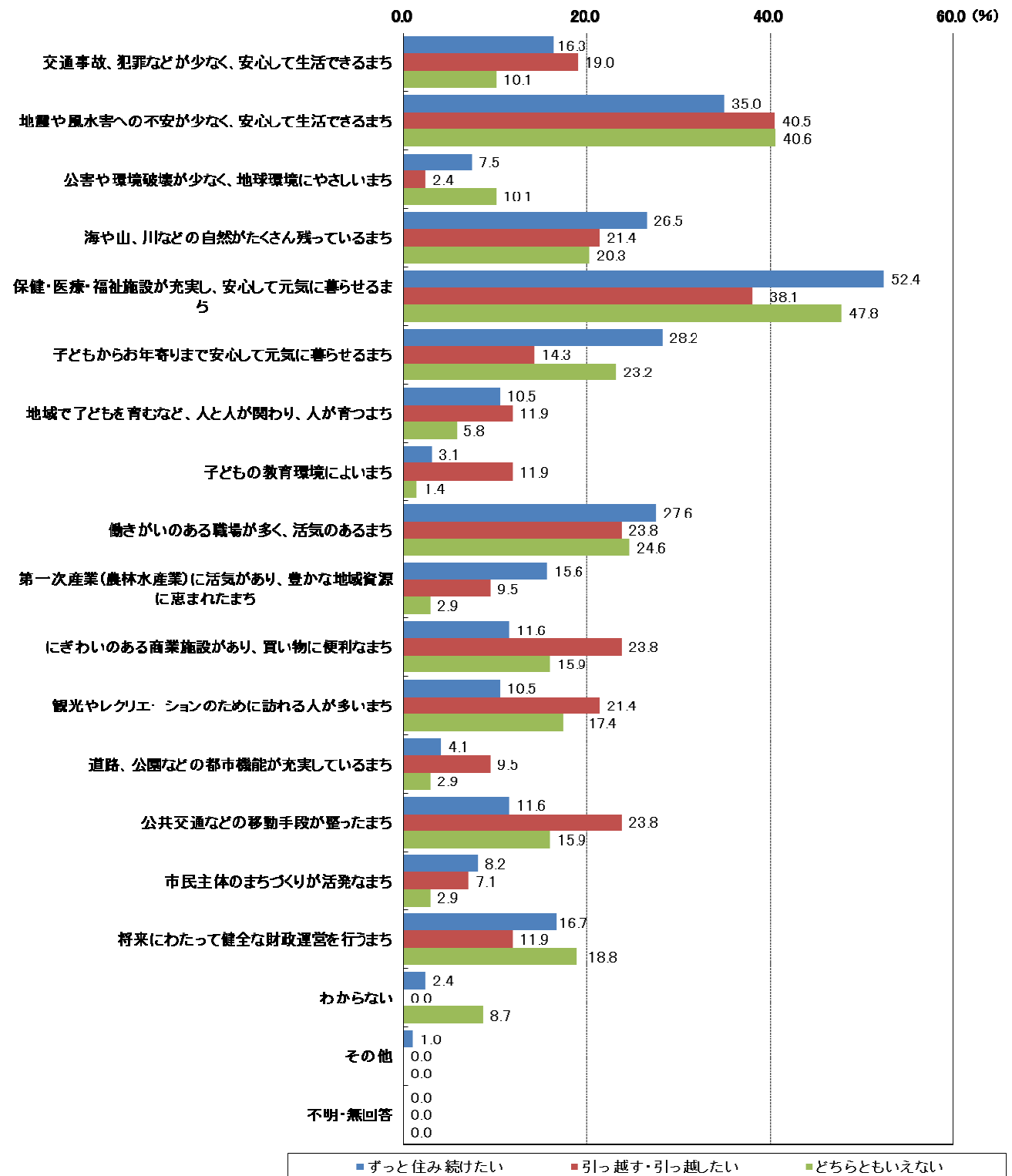
尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、全年代で「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が高くなっており、次いで「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 12×定住意向

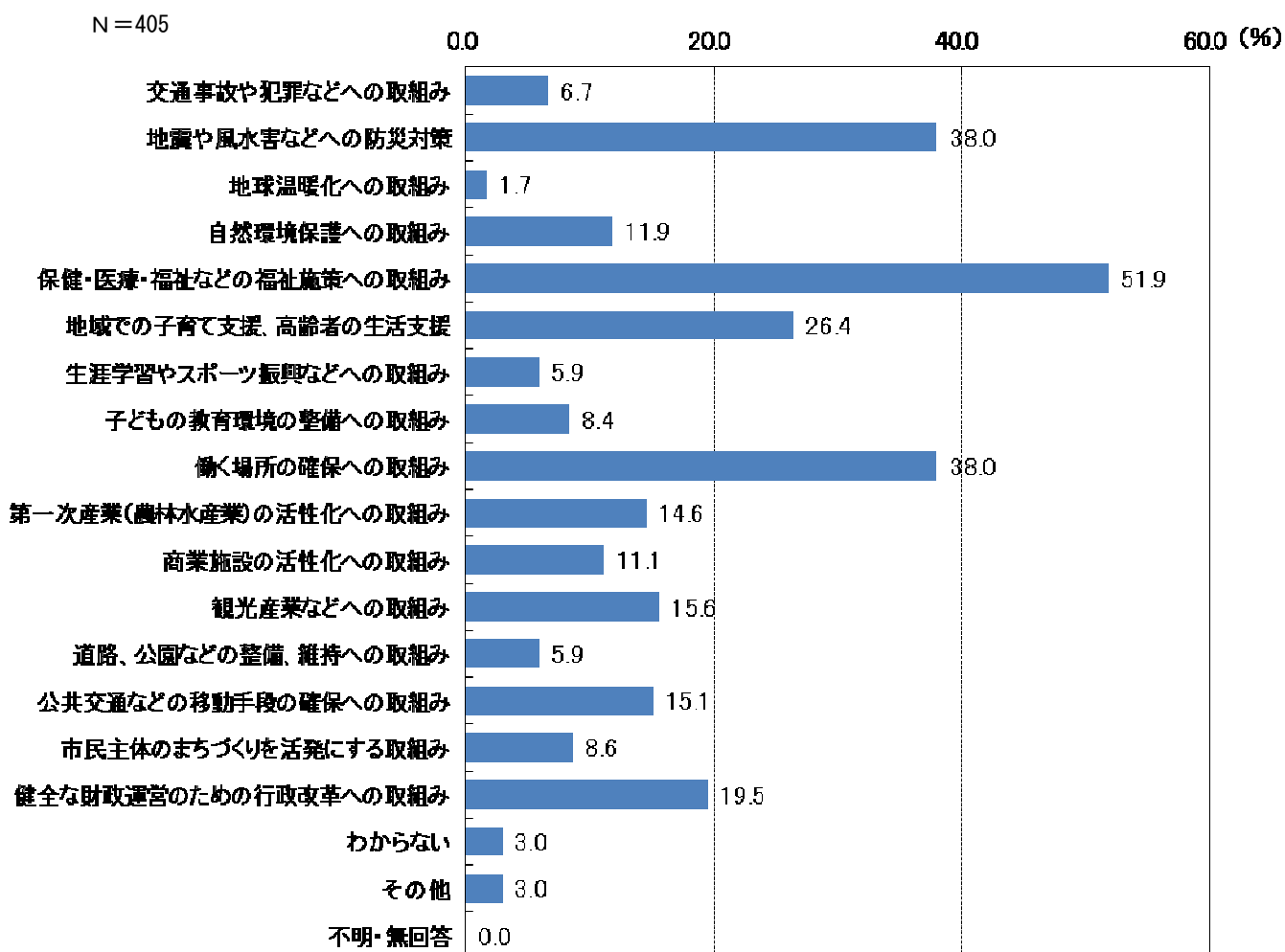
尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」を選んだ方は「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が最も高く、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方は「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。(複数回答)

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が 51.9%、「働く場所の確保への取り組み」と「地震や風水害などへの防災対策」が 38.0%となっています。

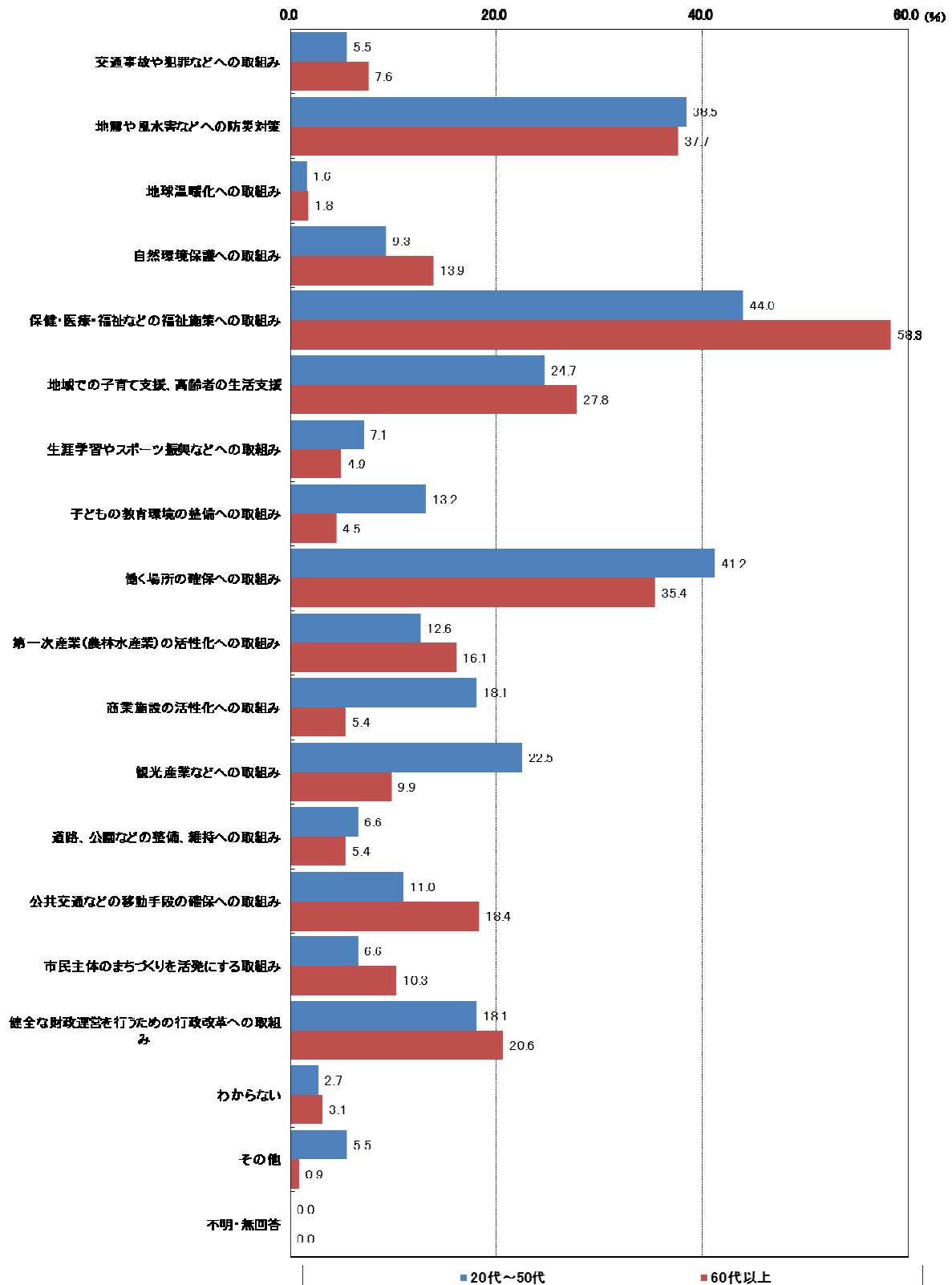


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
若い人が働ける場所を作る
名産品をつくる
障がい者が働ける場所の確保

問 13×年代

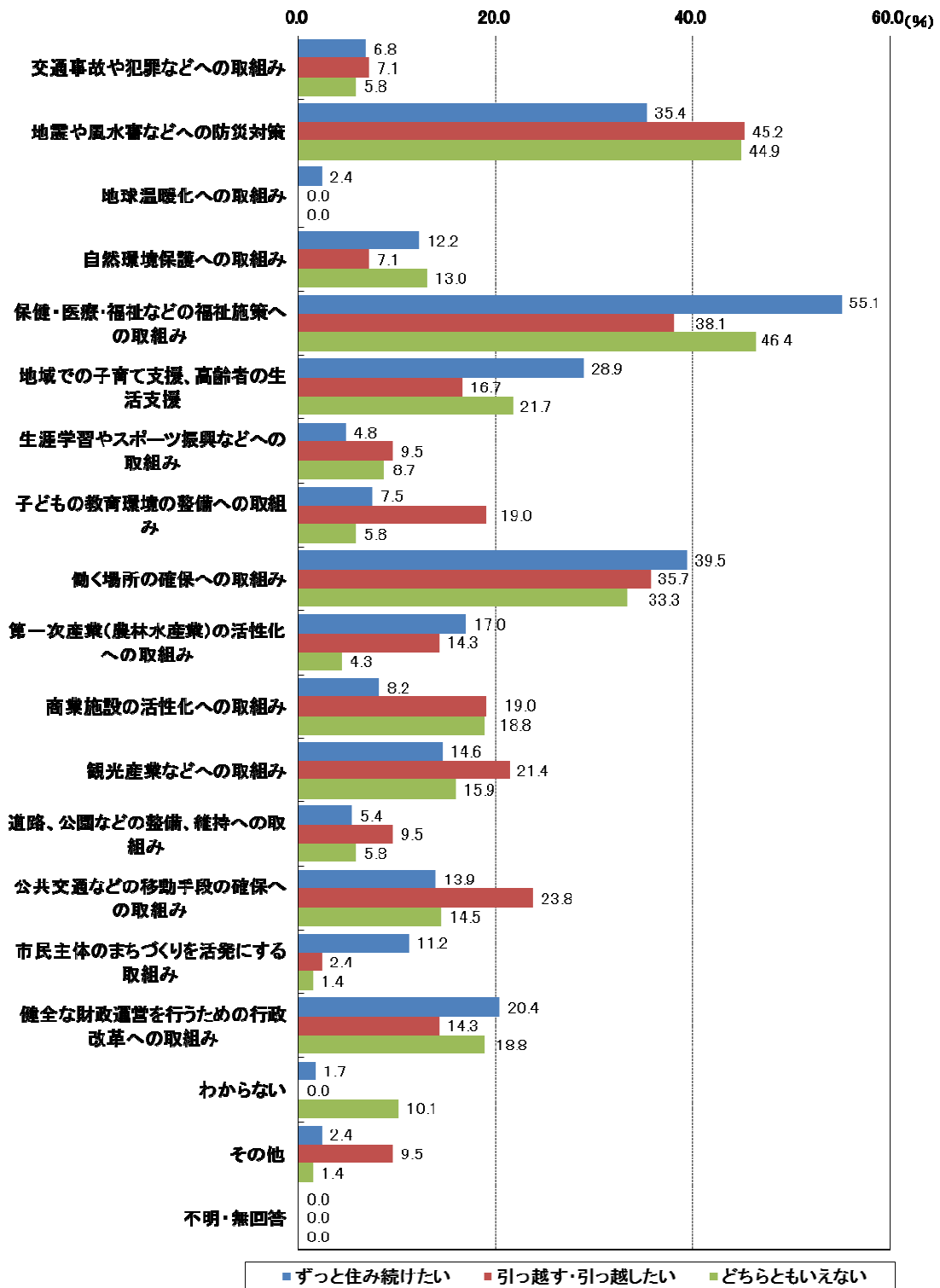
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、全年代で「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

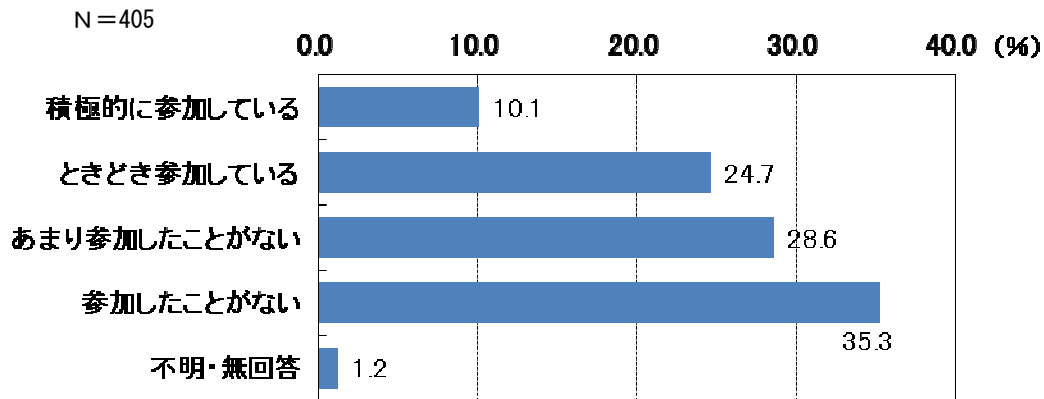
問 13×定住意向

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」と答えた方は「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が最も高くなっており、また、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方は、「地震や風水害などへの防災対策」が最も高くなっています。



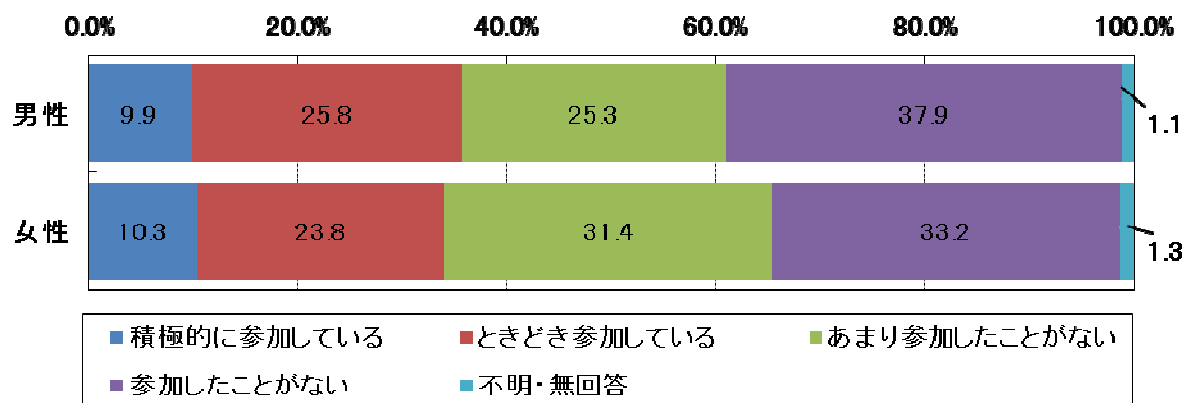
問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「ときどき参加している」が24.7%、「積極的に参加している」が10.1%と、「参加している」層は3割強となっています。



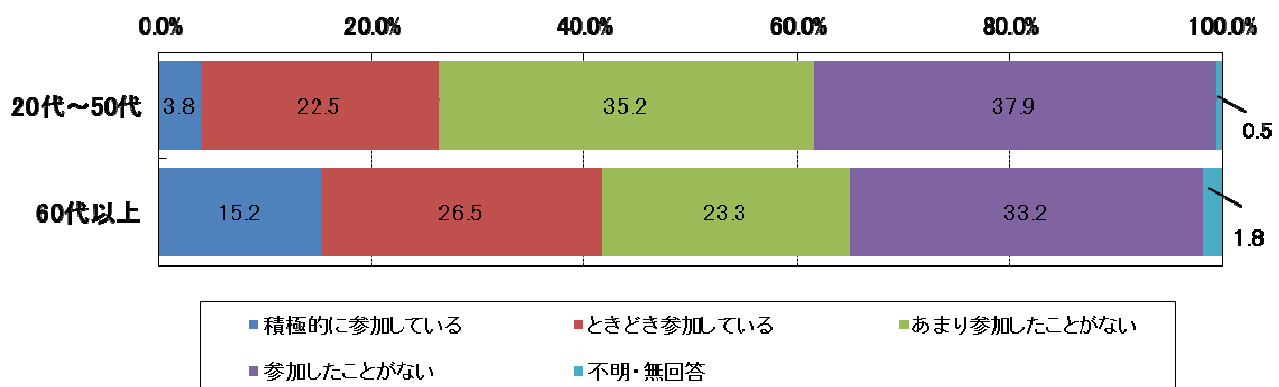
問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「男性」の方が高くなっています。



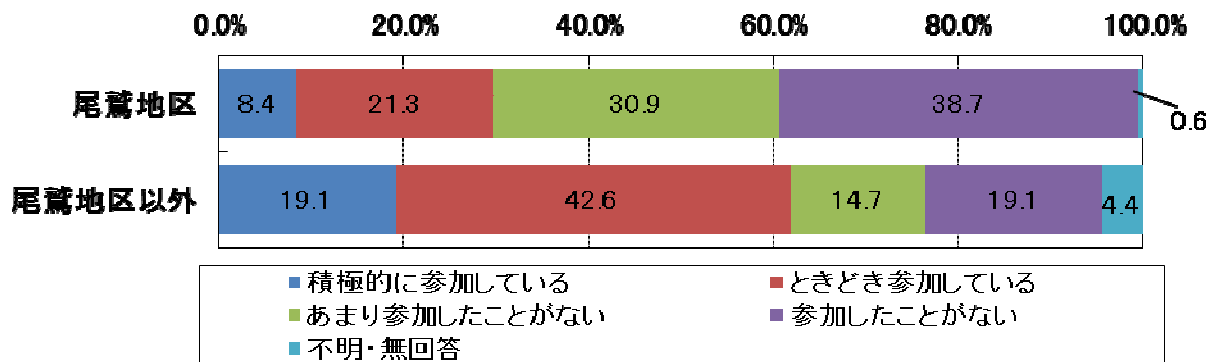
問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「20代～50代」では2.5割程度であるのに対し、「60代」では4割を越えています。



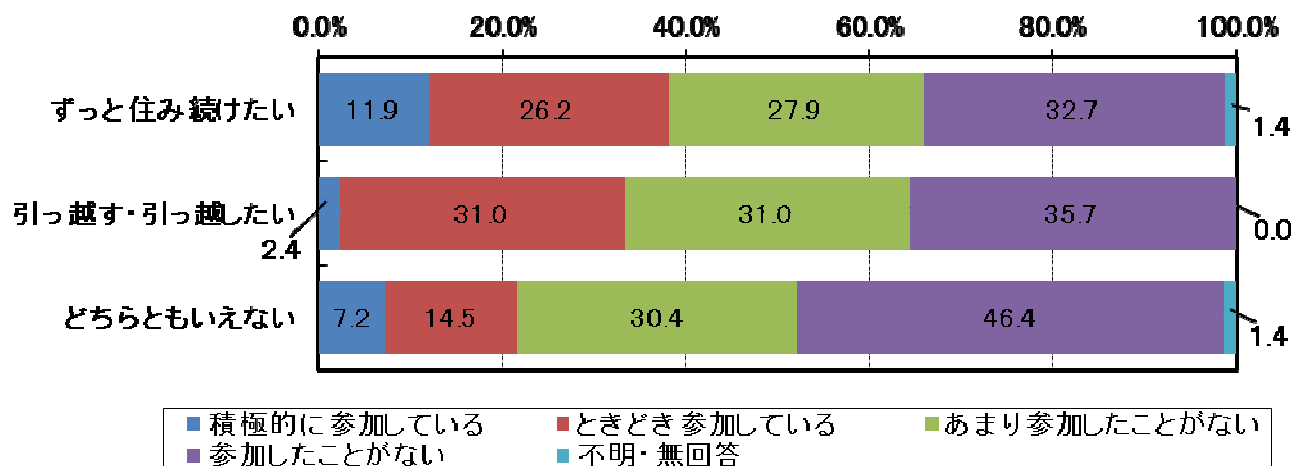
問 14×地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では3割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では6割以上となっています。



問 14×定住意向

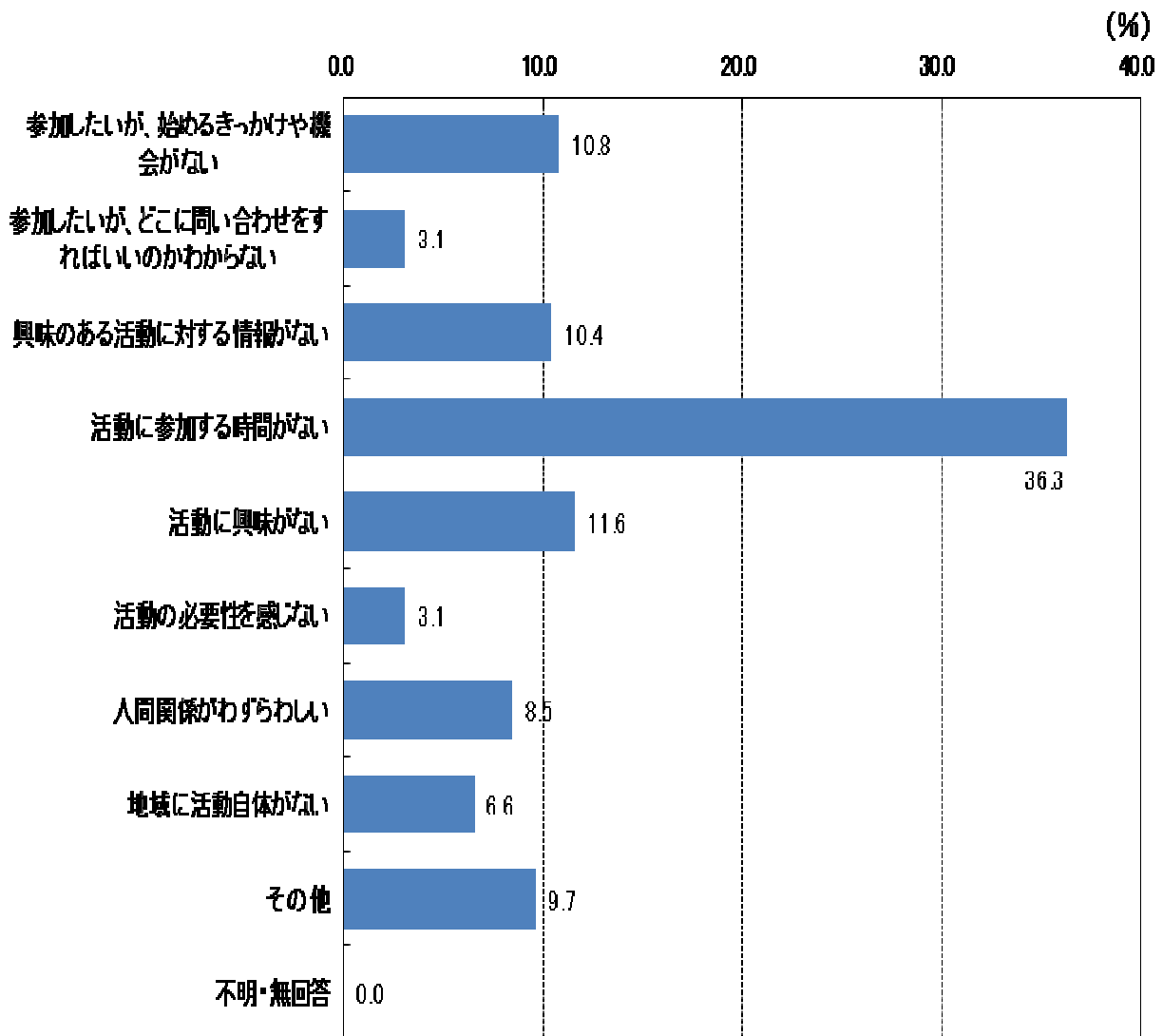
地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方に対し、「ずっと住み続けたい」と答えた方の「積極的に参加している」、「ときどき参加している」割合が高くなっています。



問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が36.3%、「活動に興味がない」が11.6%、「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」が10.8%となっています。

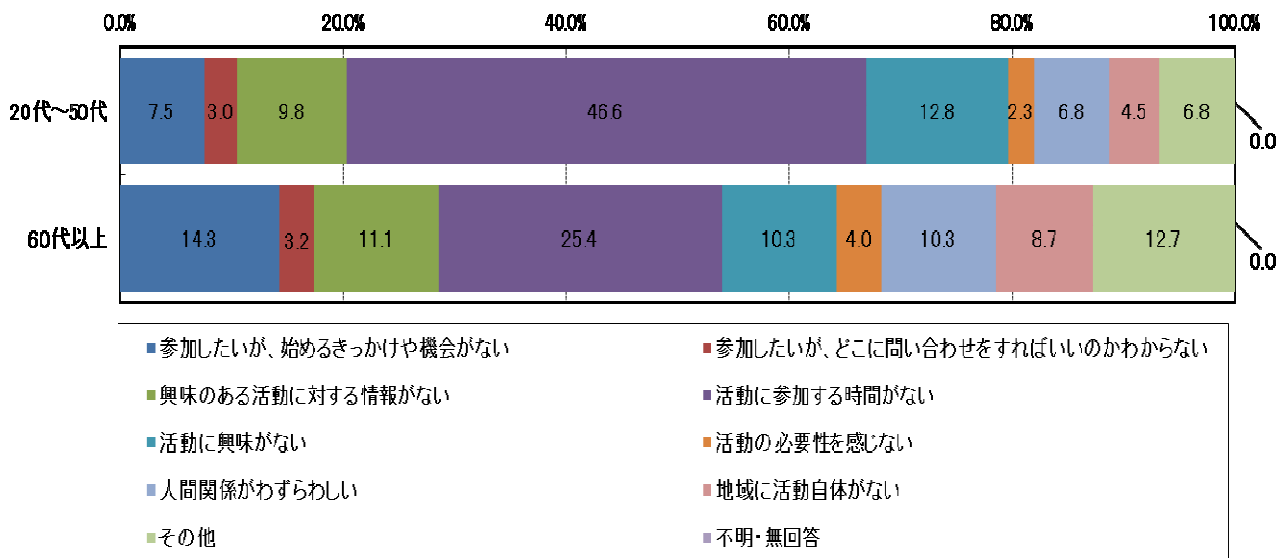
N=259



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

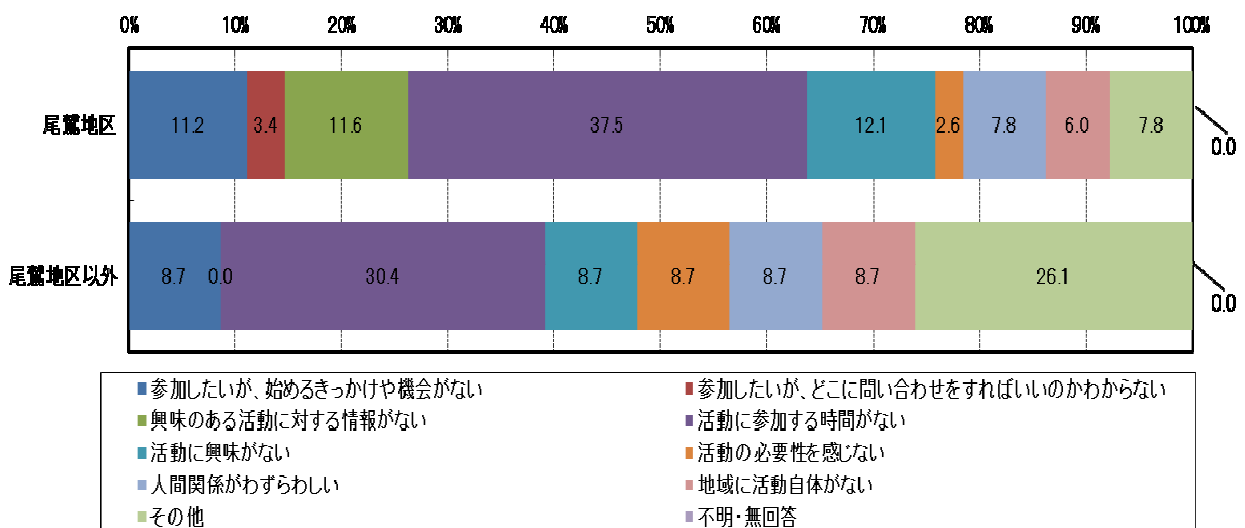
問 15×年代

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、「活動に参加する時間がない」の割合は、「20代～50代」が「60代以上」に比べ2倍近くとなっています。



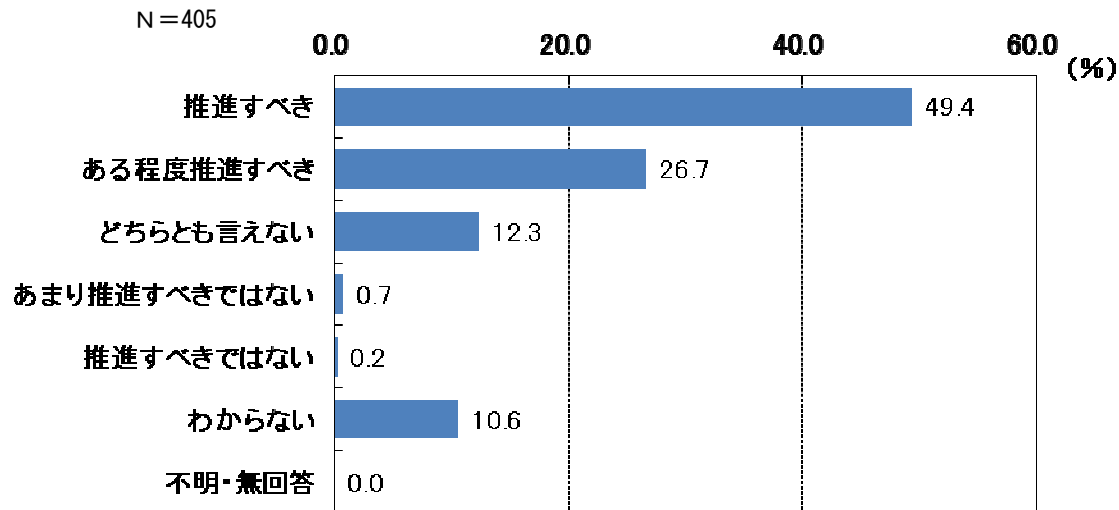
問 15×地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」「興味のある活動に対する情報がない」や「活動に参加する時間がない」等では「尾鷲地区」の方が高くなっています。



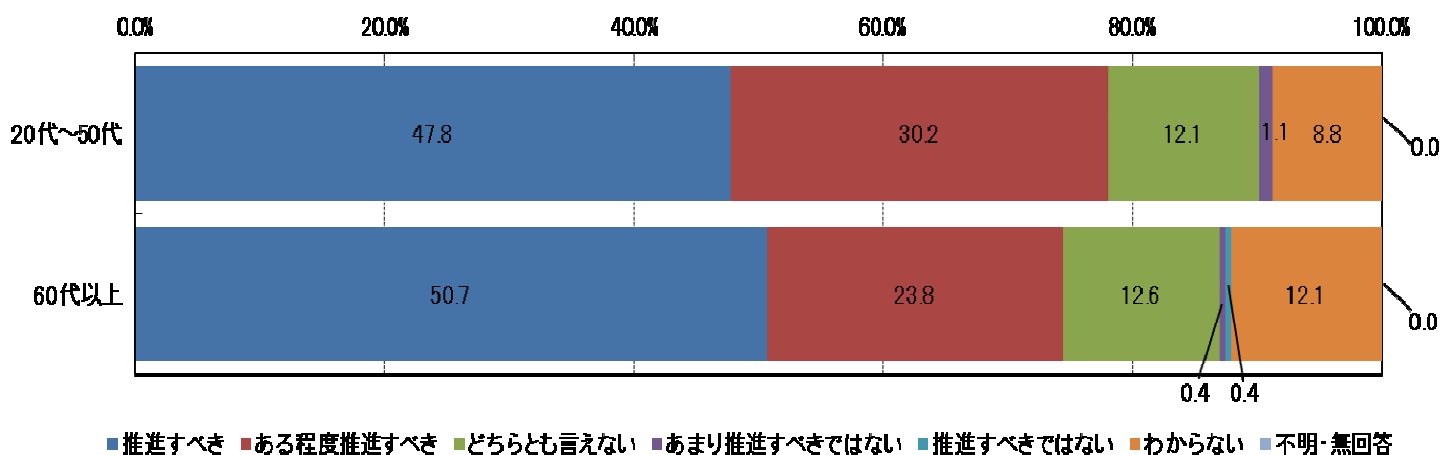
問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が49.4%、「ある程度推進すべき」が26.7%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



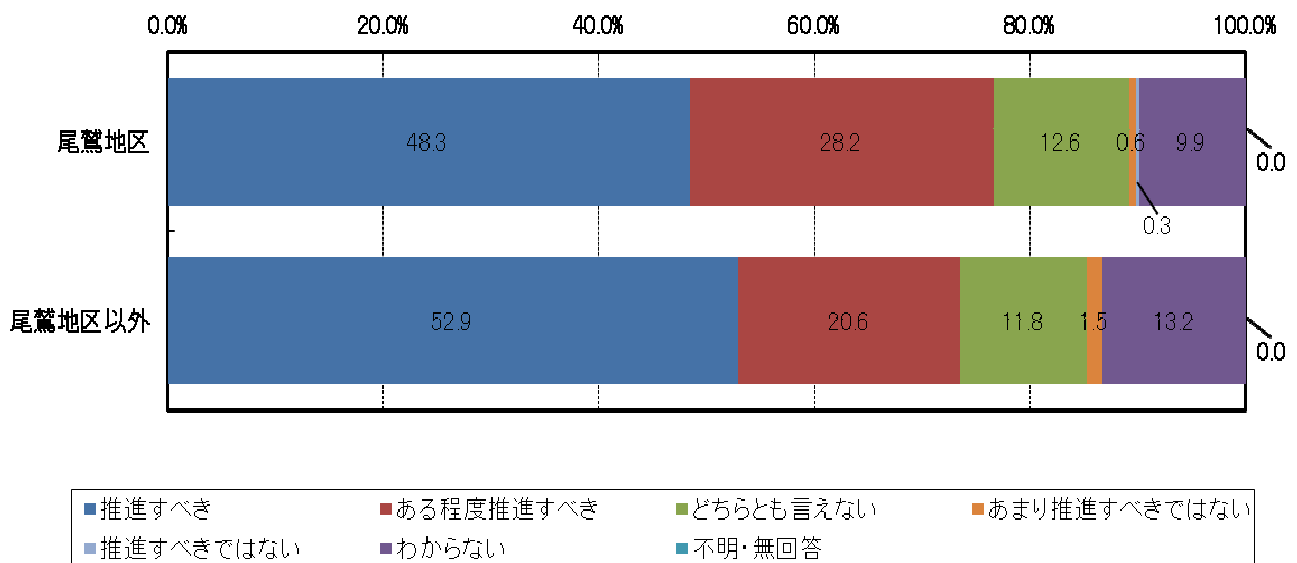
問 16×年代

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と答えた方は、全年代で7割以上となっています。



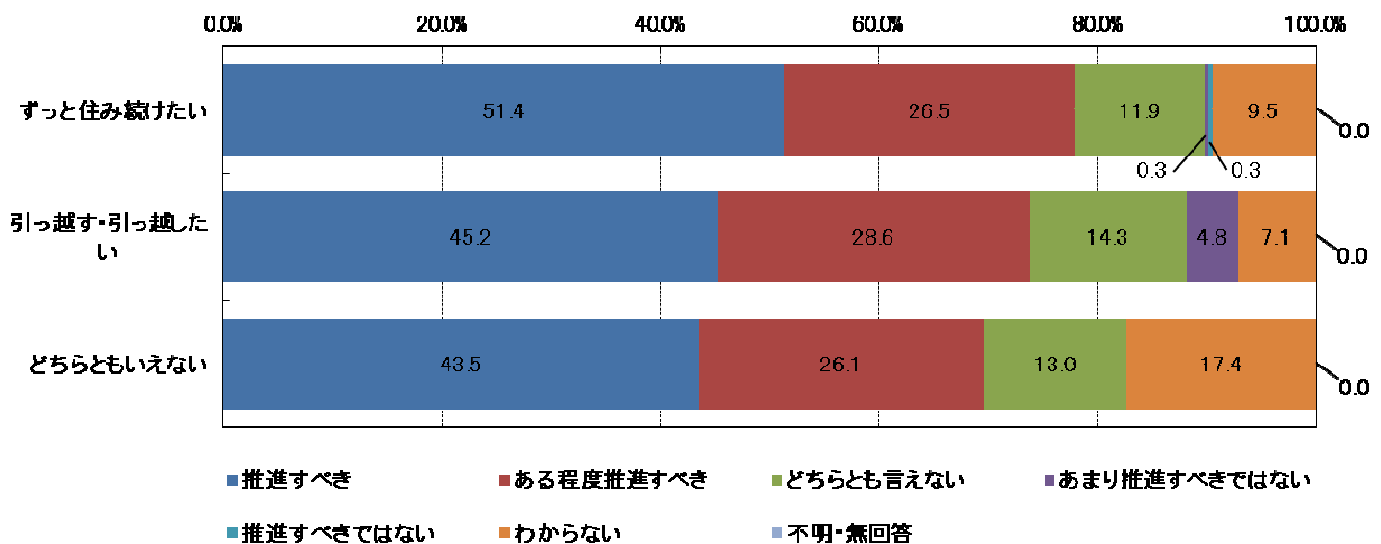
問 16×地区

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「尾鷲地区」にお住まいの方のほうが若干高くなっています。



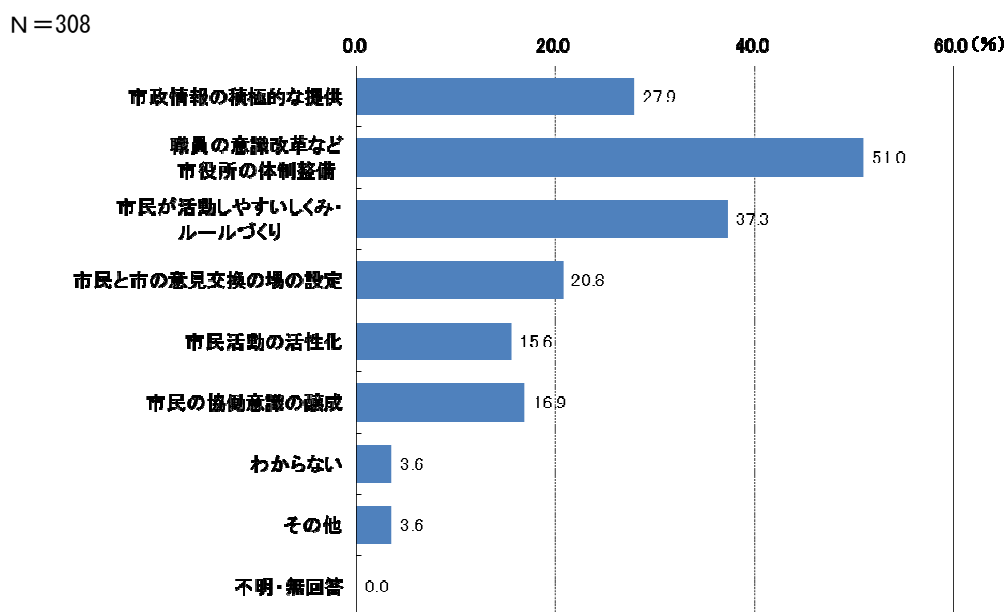
問 16×定住意向

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「ずっと住み続けたい」を選んだ方の方が若干高くなっています。



問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（複数回答）

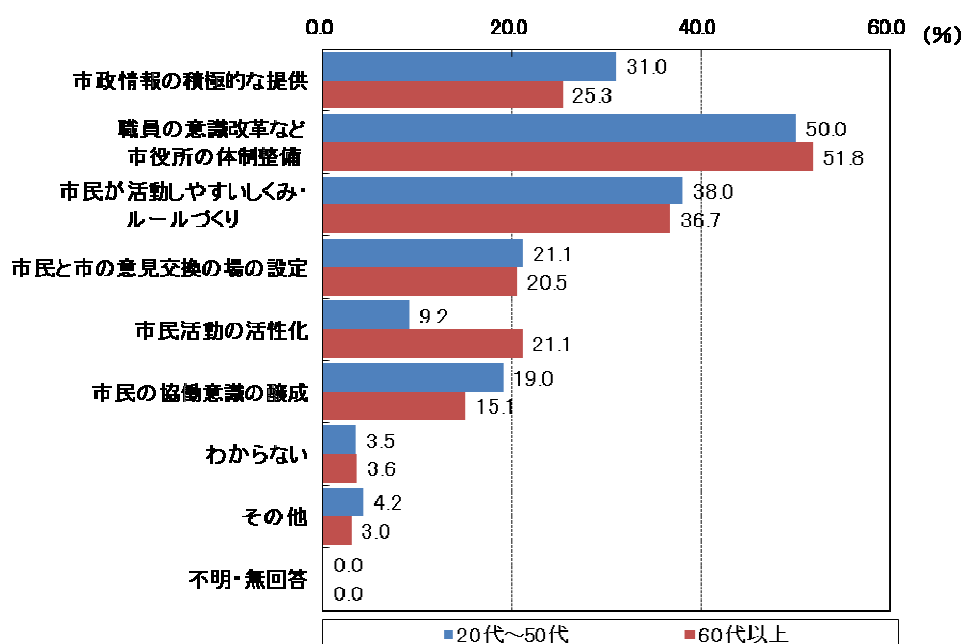
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が 51.0%、「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」が 37.3% となっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 17×年代

市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が全年代で高くなっています。



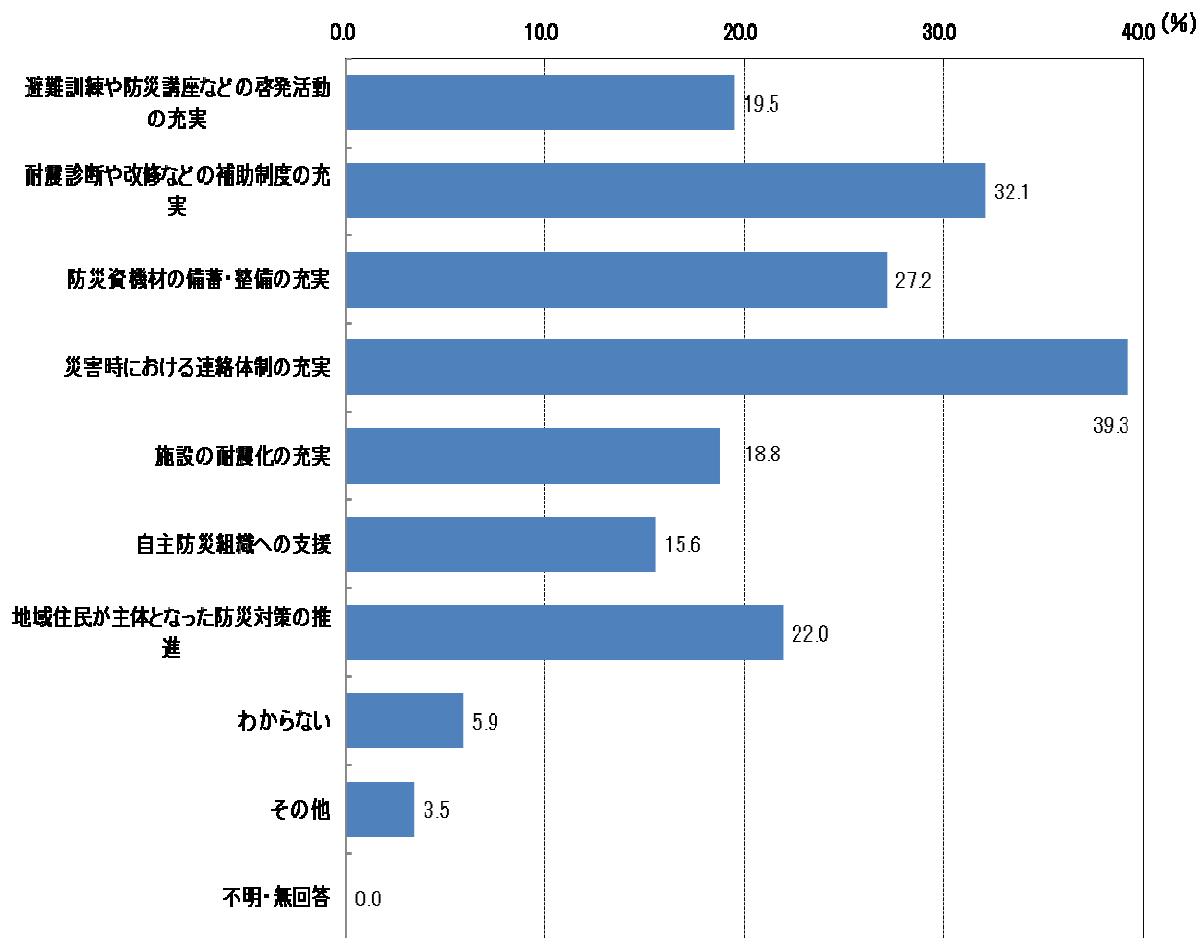
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【安全】

問 18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、「災害時における連絡体制の充実」が39.3%、「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が32.1%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が27.2%となっています。

N=405

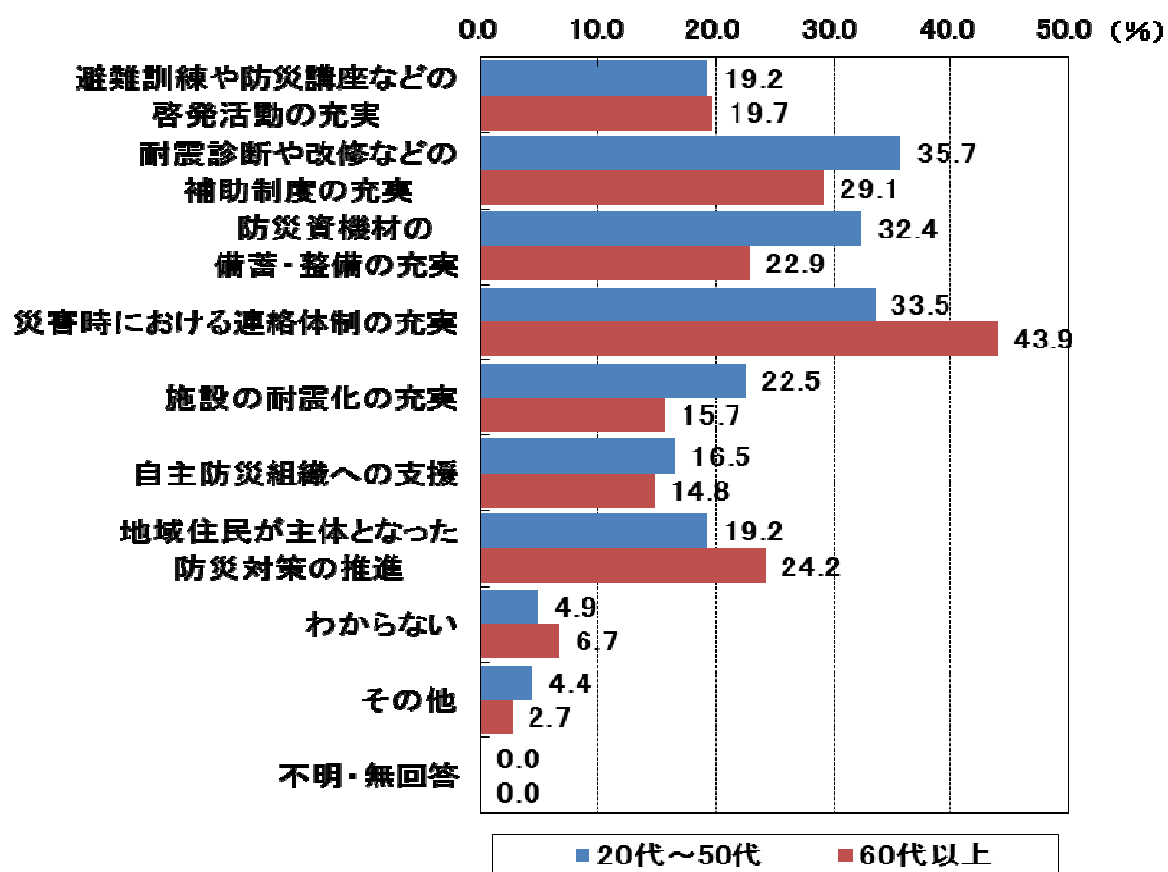


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他		
住居の高台への移転推進	危険な建造物の撤去の推進	避難タワー等の設置
ワンセグをもっと利用する	津波対策	

問 18×年代

災害による被害防止策を年代別に見ると、「20～50代」では「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が、「60代以上」では「災害時における連絡体制の充実」の割合が高くなっています。



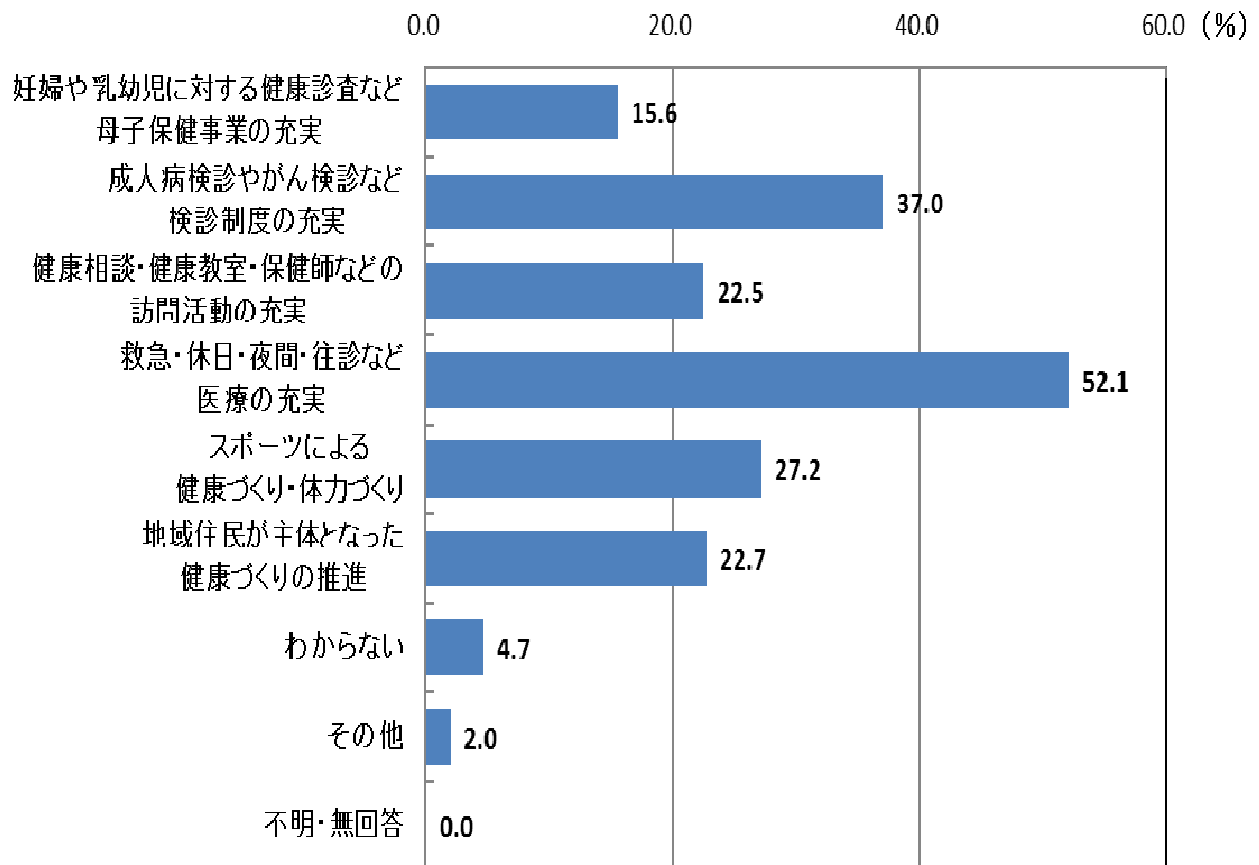
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【健康づくり】

問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（複数回答）

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が52.1%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が37.0%、「スポーツによる健康づくり・体力づくり」が27.2%となっています。

N=405

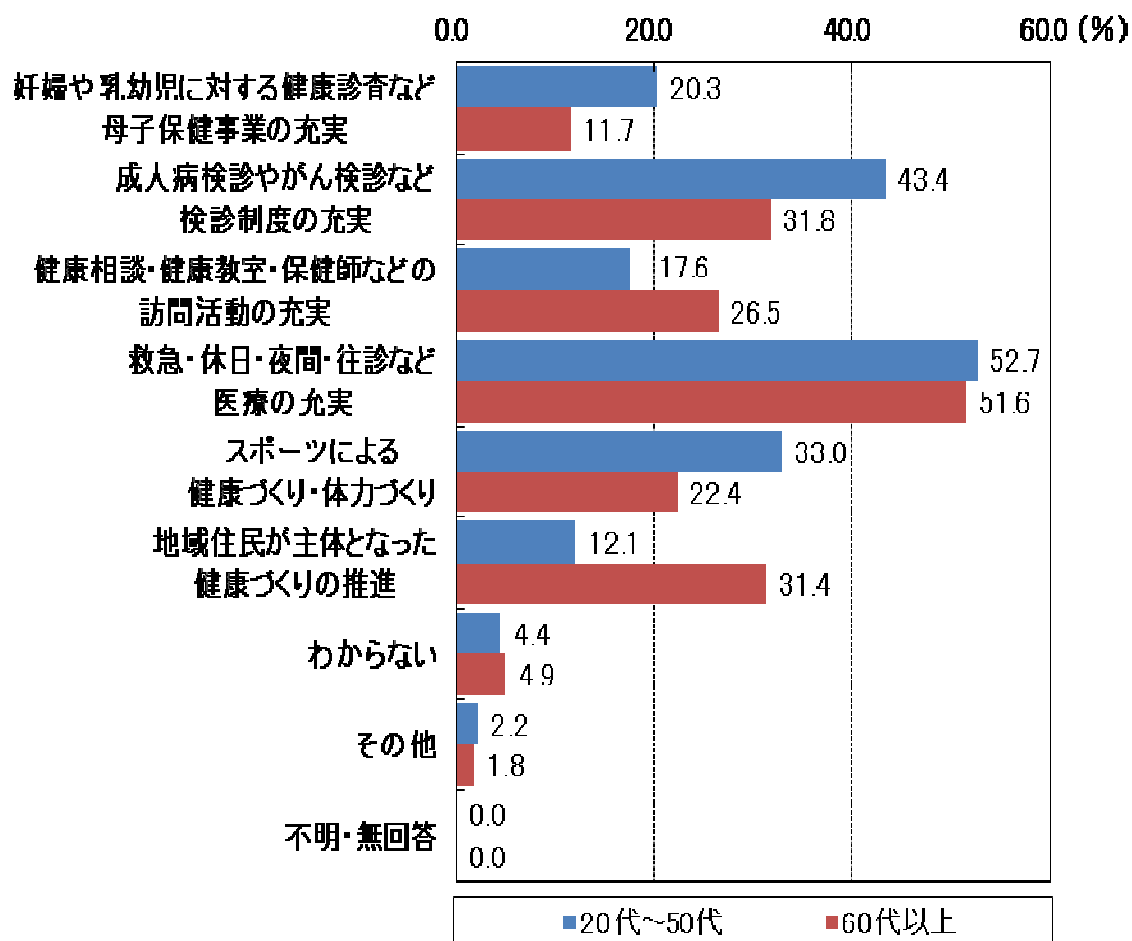


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
禁煙の啓蒙活動	市民の健康診断の義務化
近隣住民による高齢者への目配り、声掛け	地域の美化につながる活動の推進

問 19×年代

健康づくりの充実策を年代別に見ると、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」や「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」は全年代で割合が高くなっています。



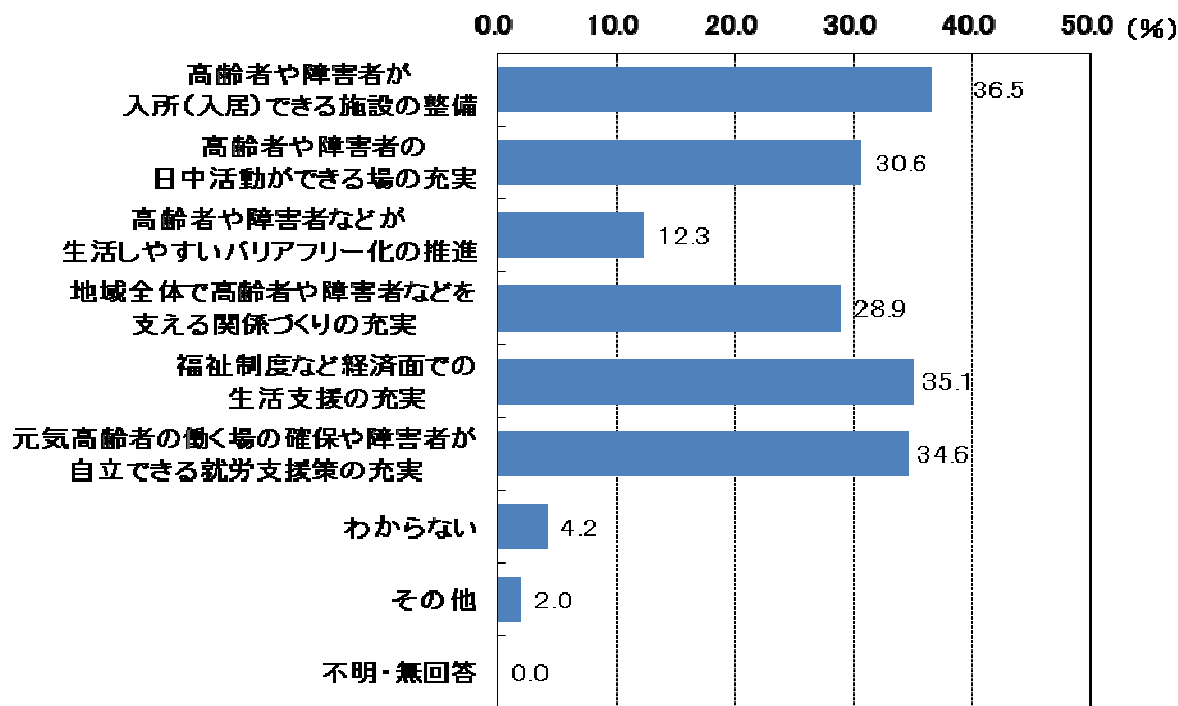
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【福祉】

問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が 36.5%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が 34.6%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自律できる就労支援策の充実」が 35.1%となっています。

N=405

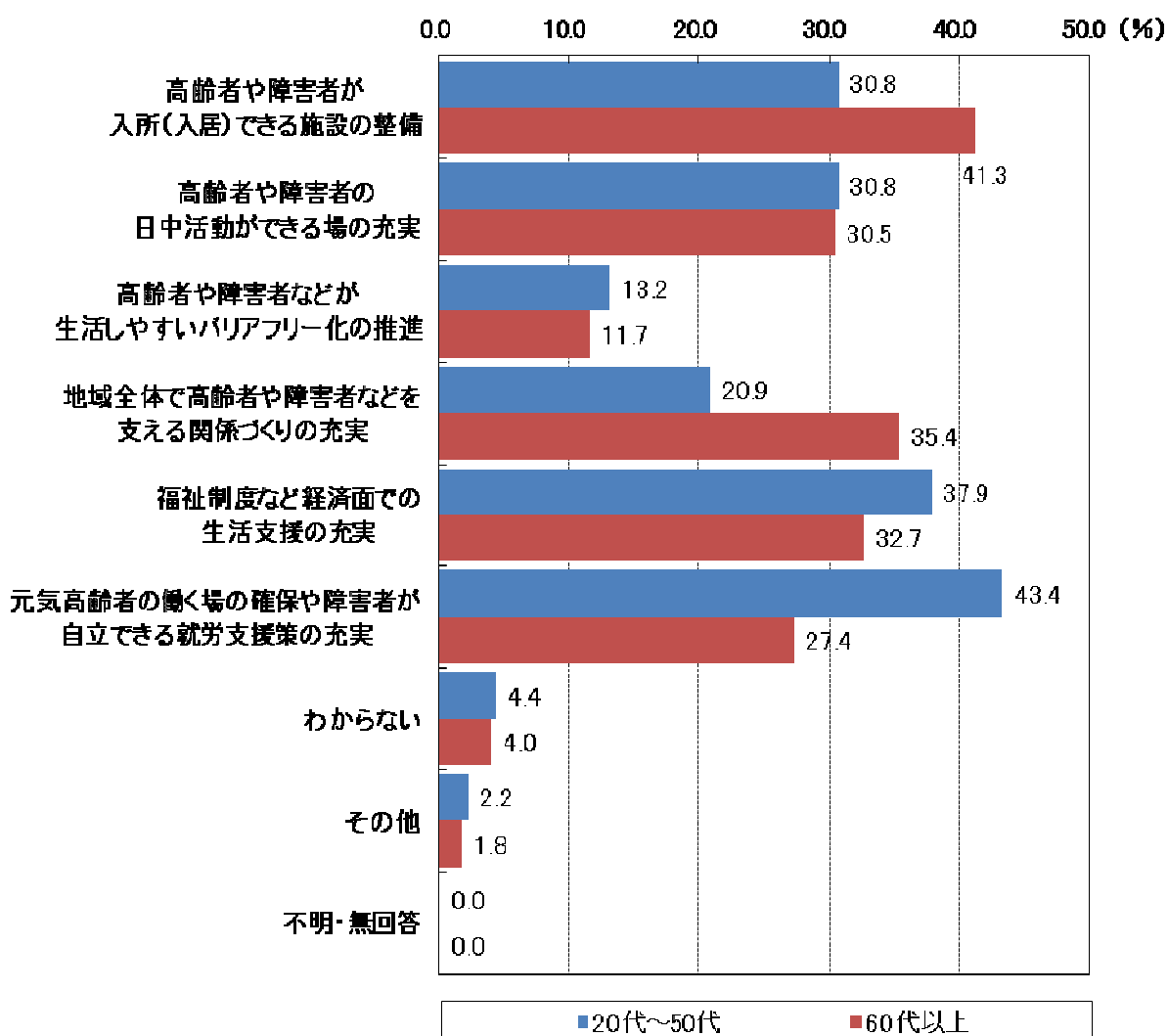


※ 複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
認知症の方の対応(病院受診・入院)
1人暮らし高齢者宅への見回り
高齢者の心のケア
周辺地区における高齢者(買物弱者)への支援

問 20×年代

福祉の充実策を年代別に見ると、「20代～50代」では「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」や「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が、「60代以上」では「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」や「地域全体で高齢者や障害者などを支える関係作りの充実」の割合が高くなっています。



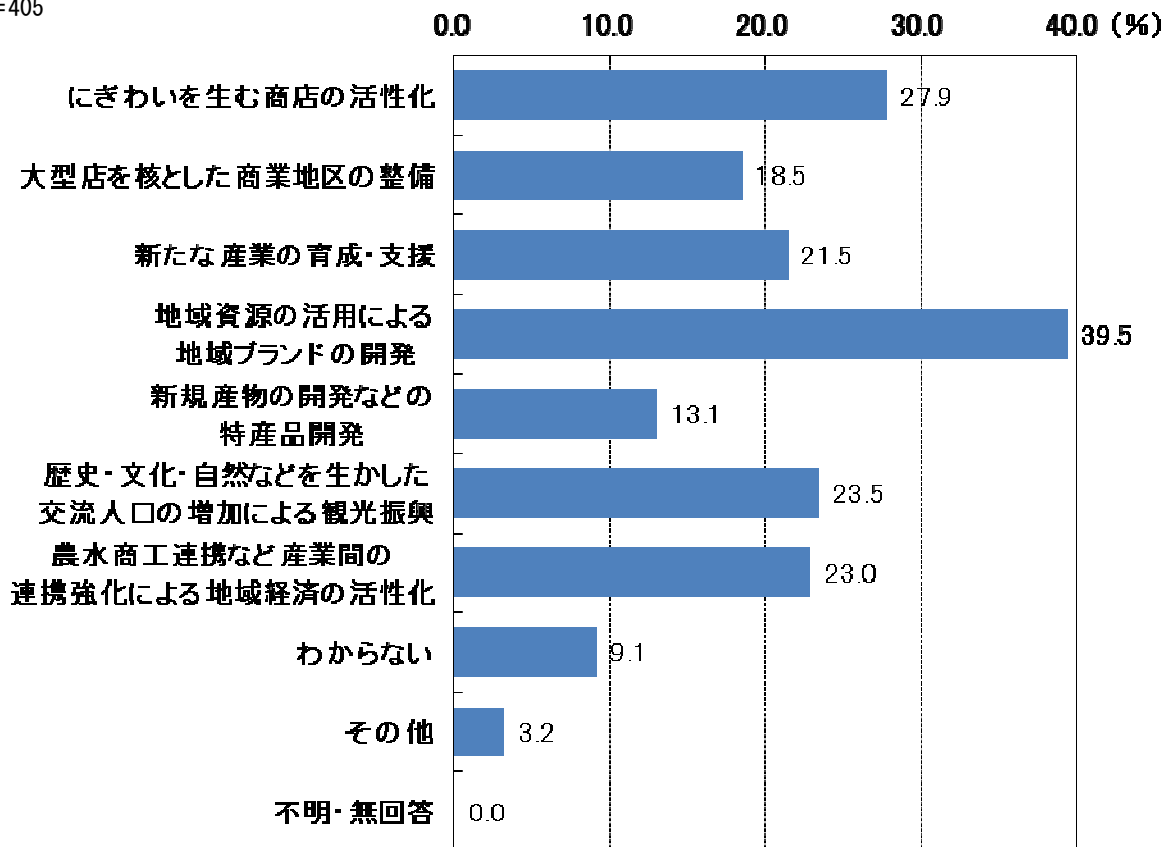
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【産業振興】

問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

産業振興・活性化策として、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が39.5%、「にぎわいを生む商店の活性化」が27.9%、「歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興」が23.5%となっています。

N=405

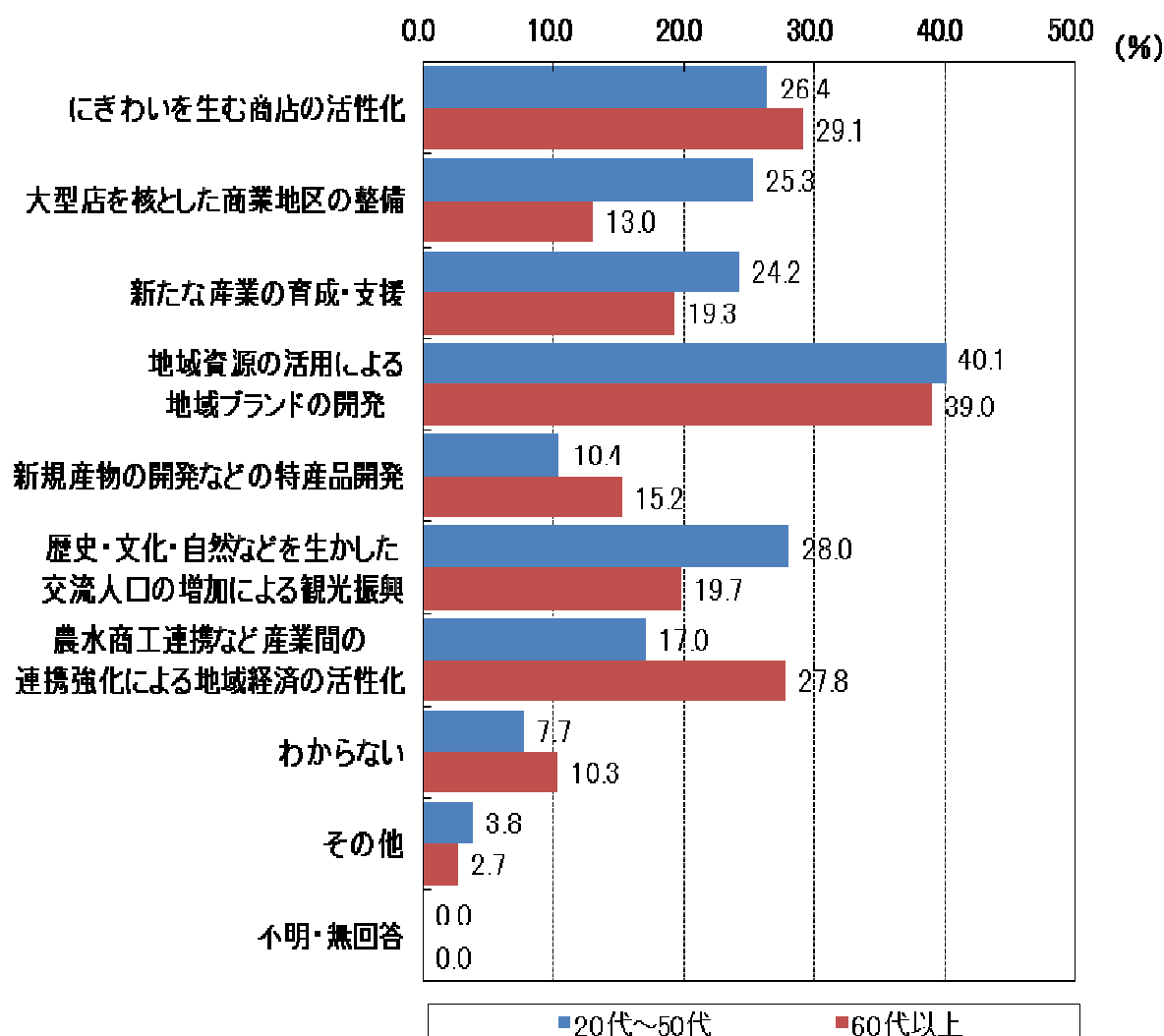


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
大学等に進学する前の中・高校教育で福祉教育に力を入れる
釣り公園のようなものをつくる
外部への情報発信
特区の設立

問 21×年代

産業振興・活性化策を年代別に見ると、全年代で「地域資源の活用による地域ブランドの開発」の割合が高く、次いで「20代～50代」では「歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興」が、「60代以上」では「にぎわいを生む商店の活性化」の割合が高くなっております。



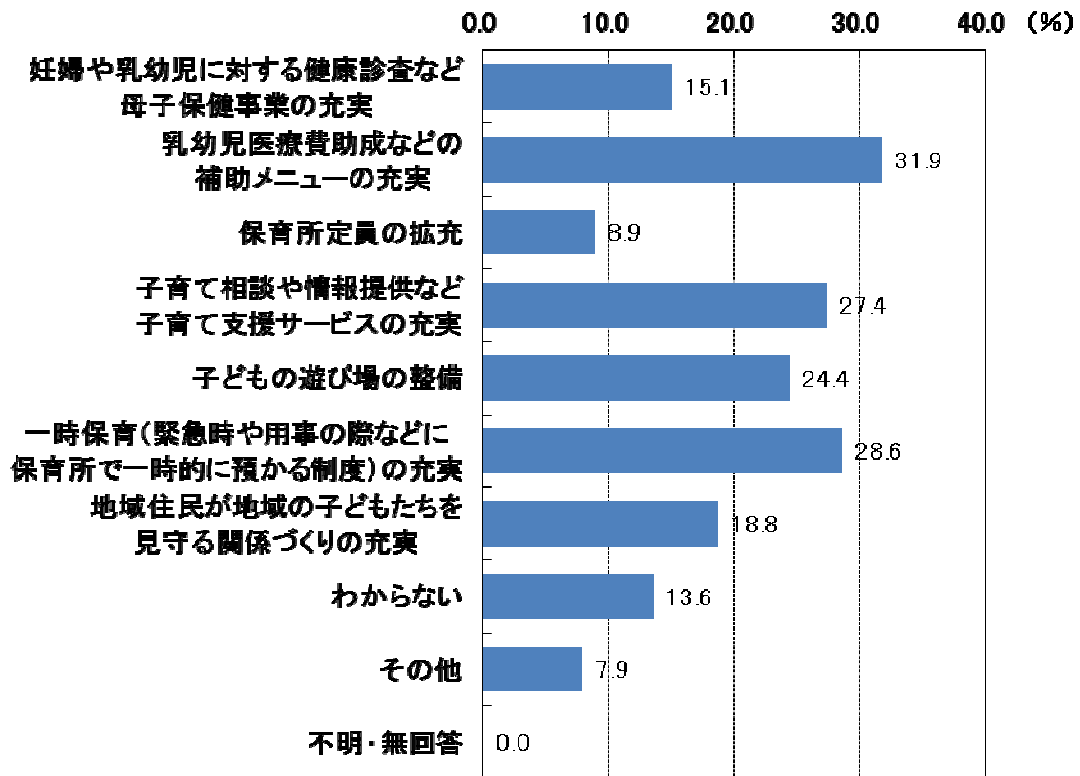
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【子育て環境】

問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

少子化への対応として、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」が31.9%、「一時保育の充実」が28.6%、「子育て相談や情報提供など子育てサービスの充実」が27.4%となっています。

N=405

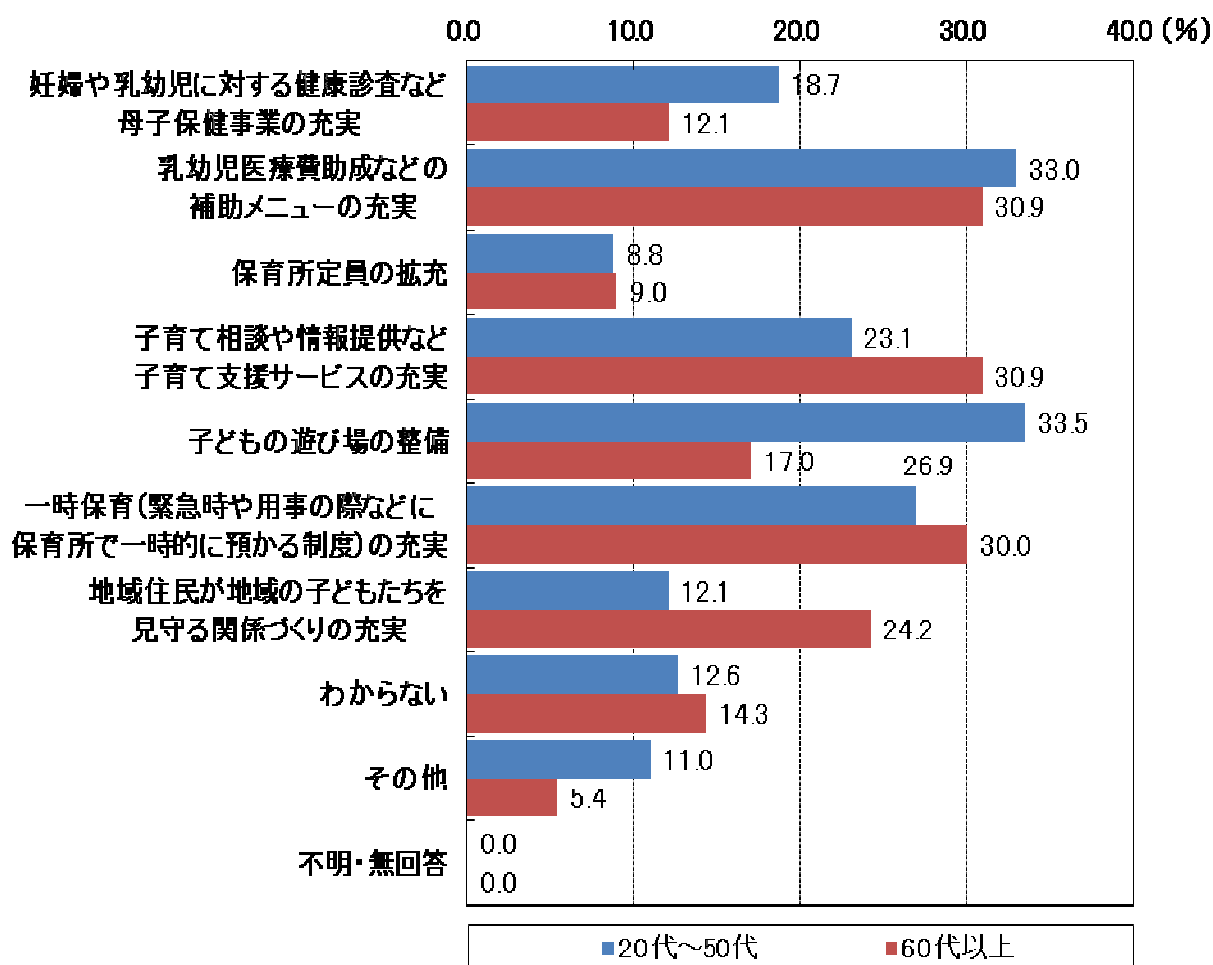


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
若年層が将来住めるような職場の確保	病児保育や休日などの託児所の充実
商業施設、交通機関の充実	働く母親が働きやすい環境づくり
子育て世帯への住宅支援	他県民が産んで育てたいと思えるような教育環境

問 22×年代

少子化への対応を年代別に見ると、全年代で「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実」の比率が高くなっていますが、「20代～50代」では「子どもの遊び場の整備」がもっとも高くなっています。

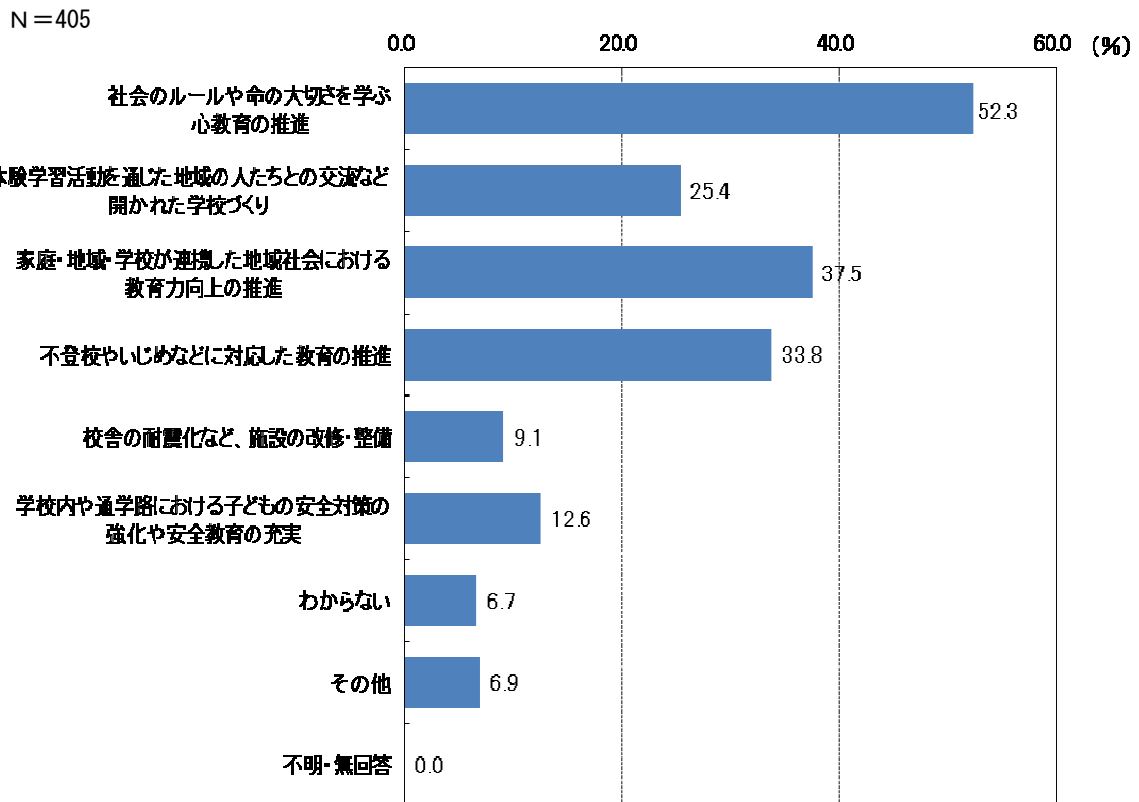


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【学校教育】

問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が 52.3%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 37.5%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が 33.8%となっています。

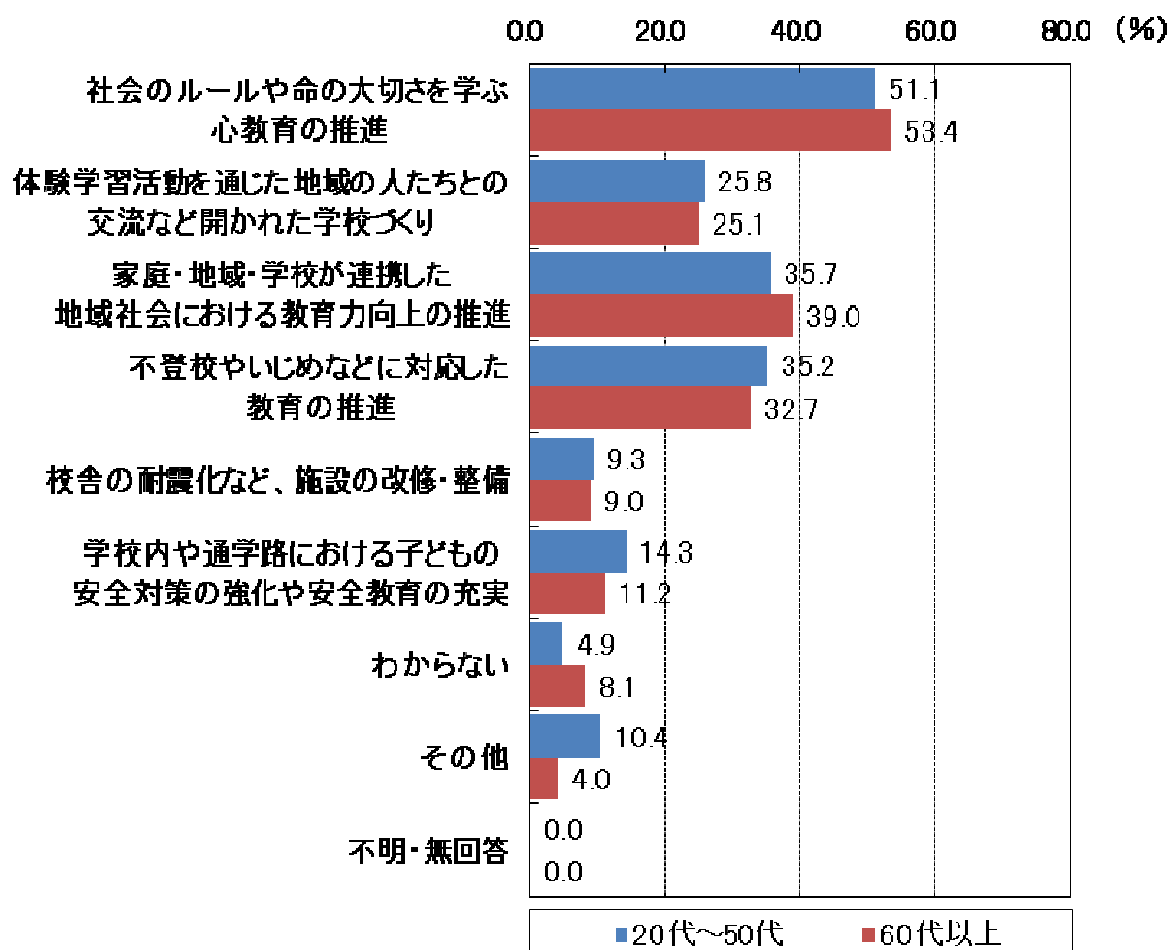


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
SNS などネットの怖さについて	都会の子供達との交流
学校の統廃合	何かに特化した教育の推進

問 23×年代

学校教育の充実策を年代別に見ると、全年代で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が上位となっており、次いで「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」の割合が高くなっています。



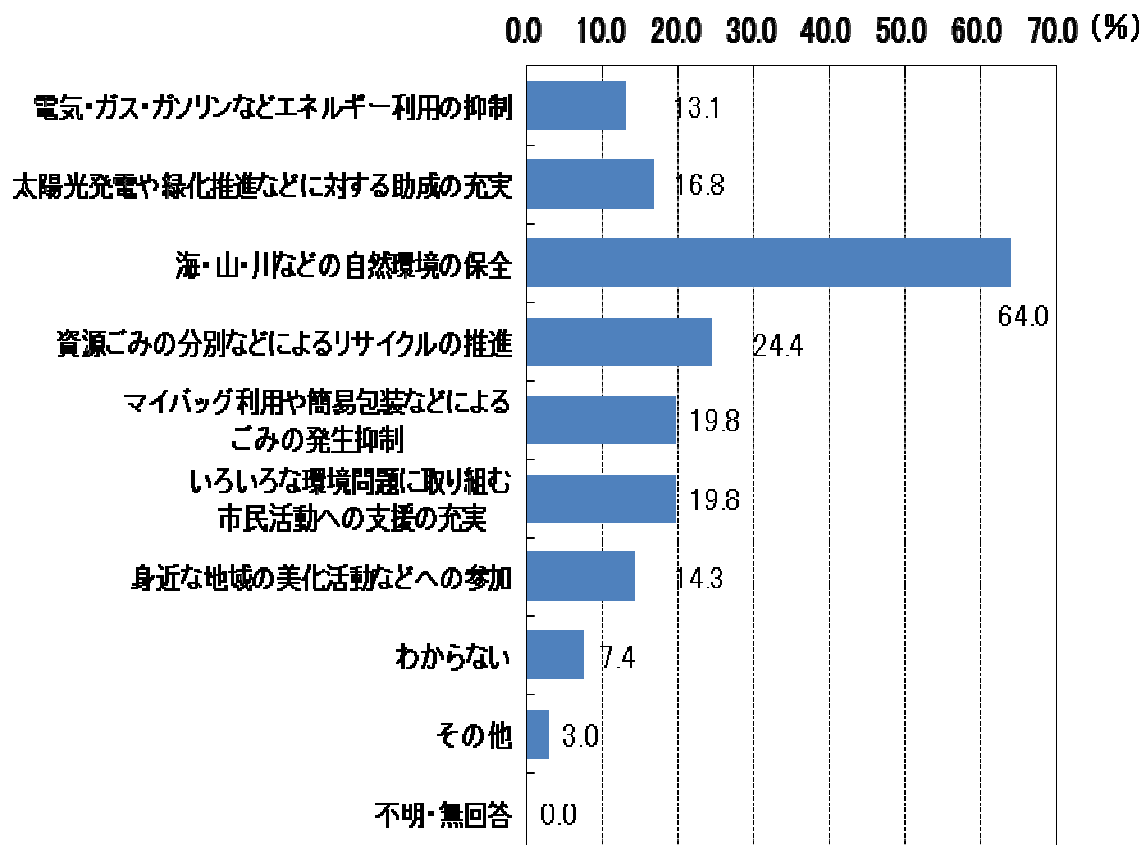
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【環境】

問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。
 (複数回答)

環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が64.0%、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が24.4%となっています。

N=405

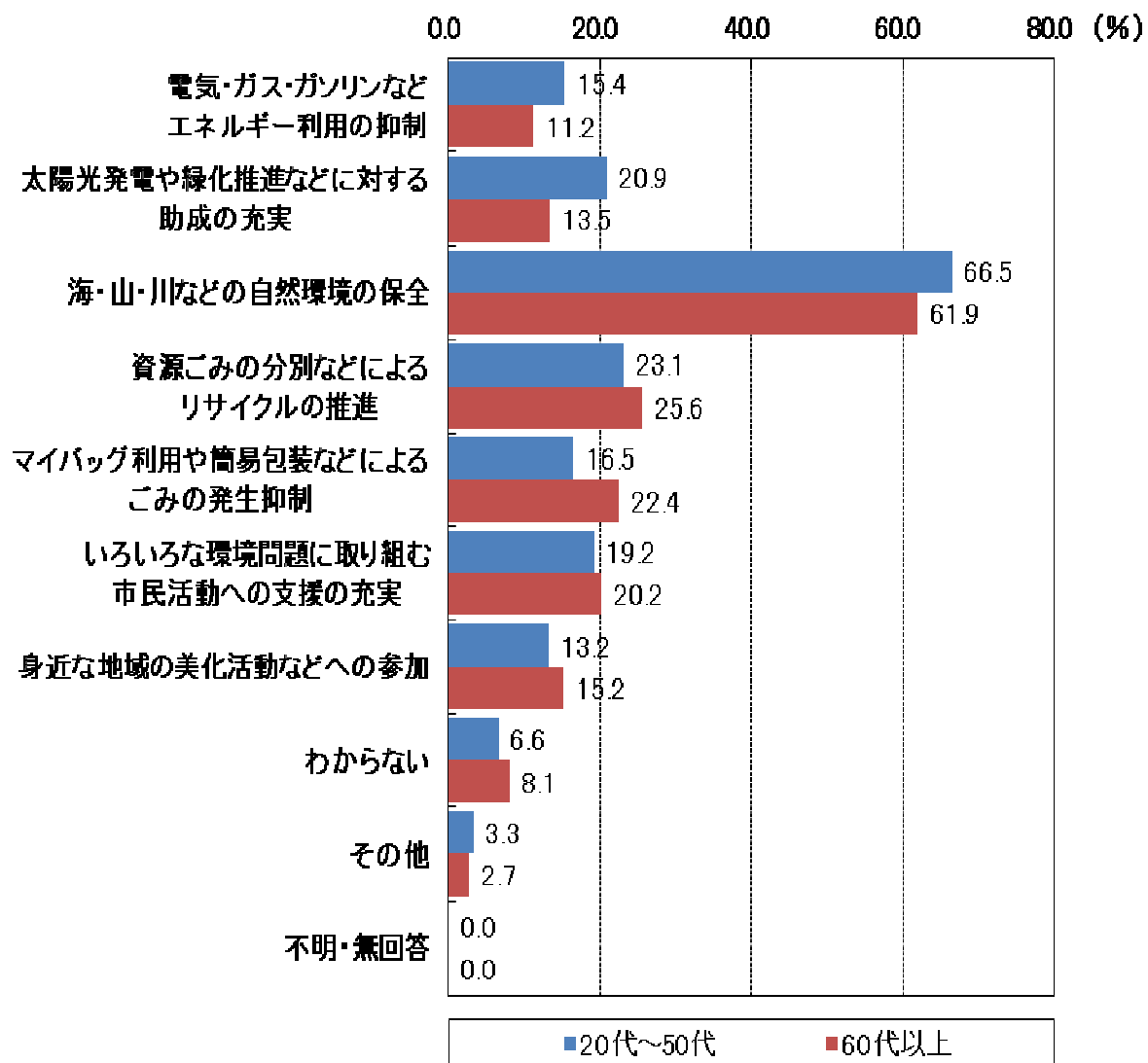


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
24時間ないし土日にゴミを捨てられるステーションの整備
バイオエネルギーの開発

問 24×年代

環境を良くする方策としては、全年代で「海・山・川などの自然環境の保全」が最も高くなっており、次いで「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」の割合が高くなっています。

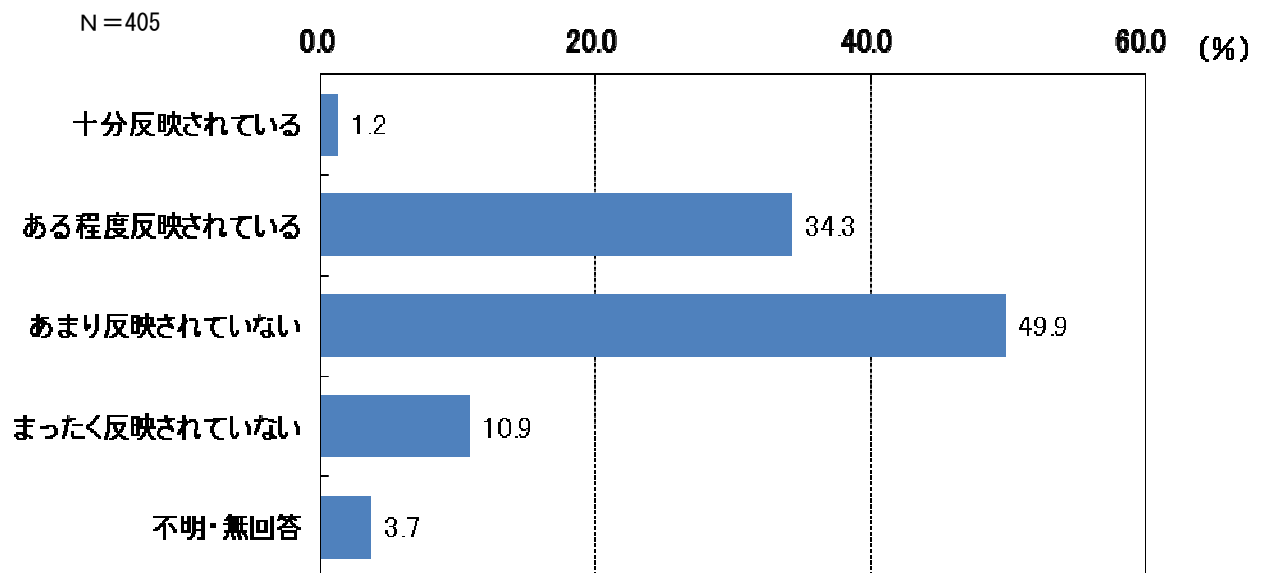


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【市民意見の反映】

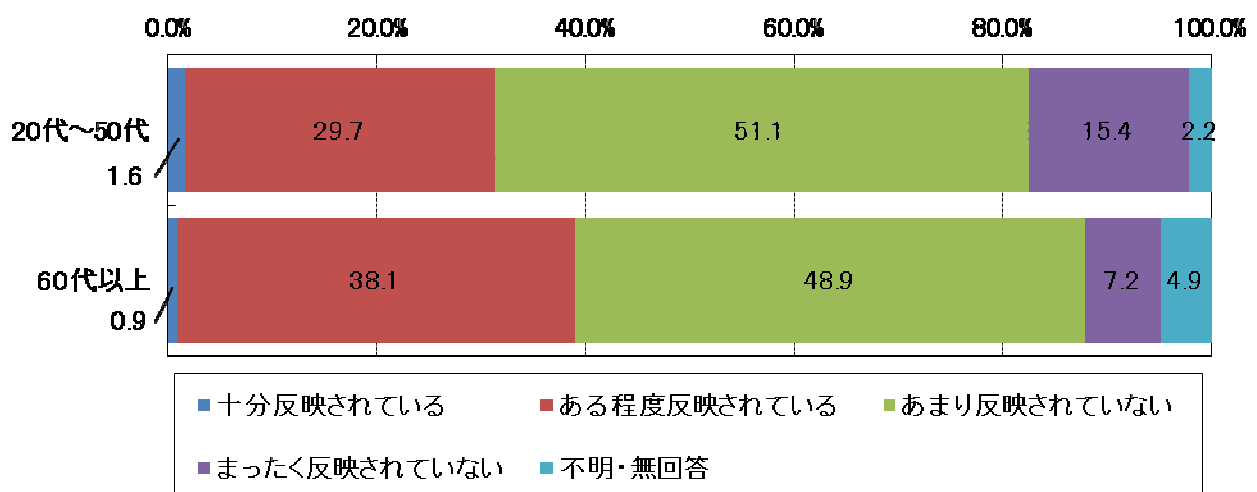
問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が49.9%、「まったく反映されていない」が10.9%と、合計で6割以上が「反映されていない」と回答しています。



問 25×年代

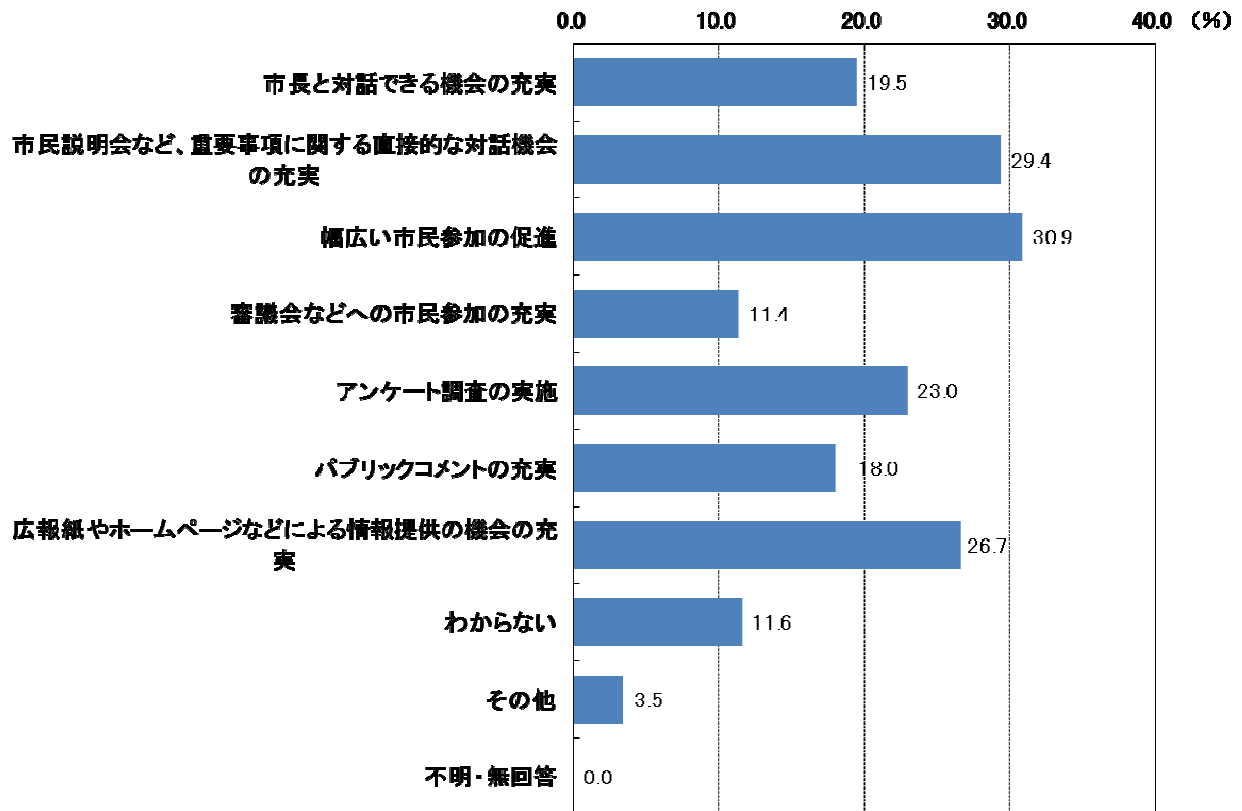
市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「20代～50代」では7割弱、「60代以上」では6割弱となっています。



問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

市民意向を市政に反映させる方策として、「幅広い市民参加の促進」が30.9%、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が29.4%、「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が26.7%となっています。

N=405

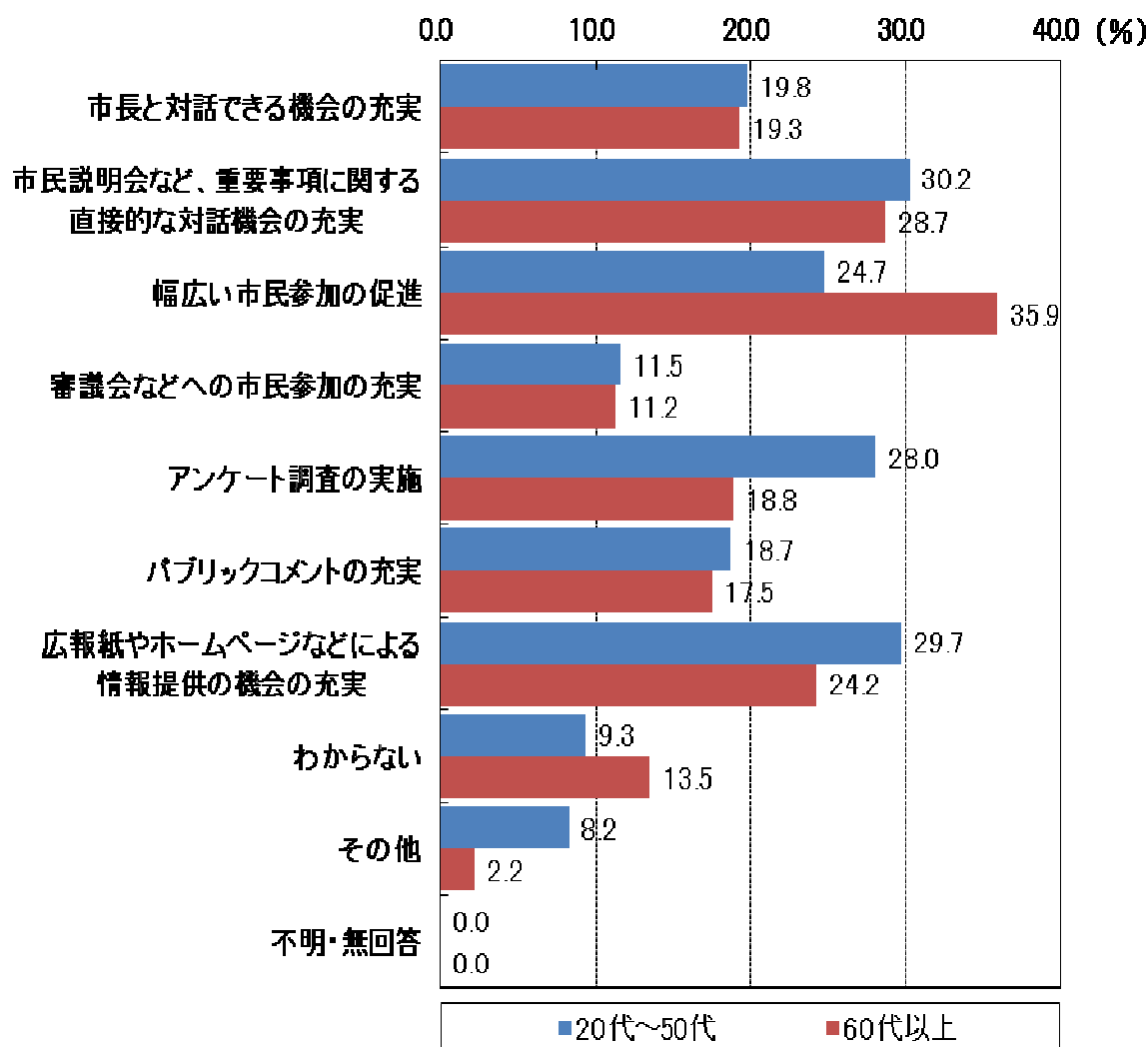


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
広報周知の充実

問 26×年代

市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、「20代～50代」では「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」、「60代以上」では「幅広い市民参加の促進」の割合が最も高くなっています。

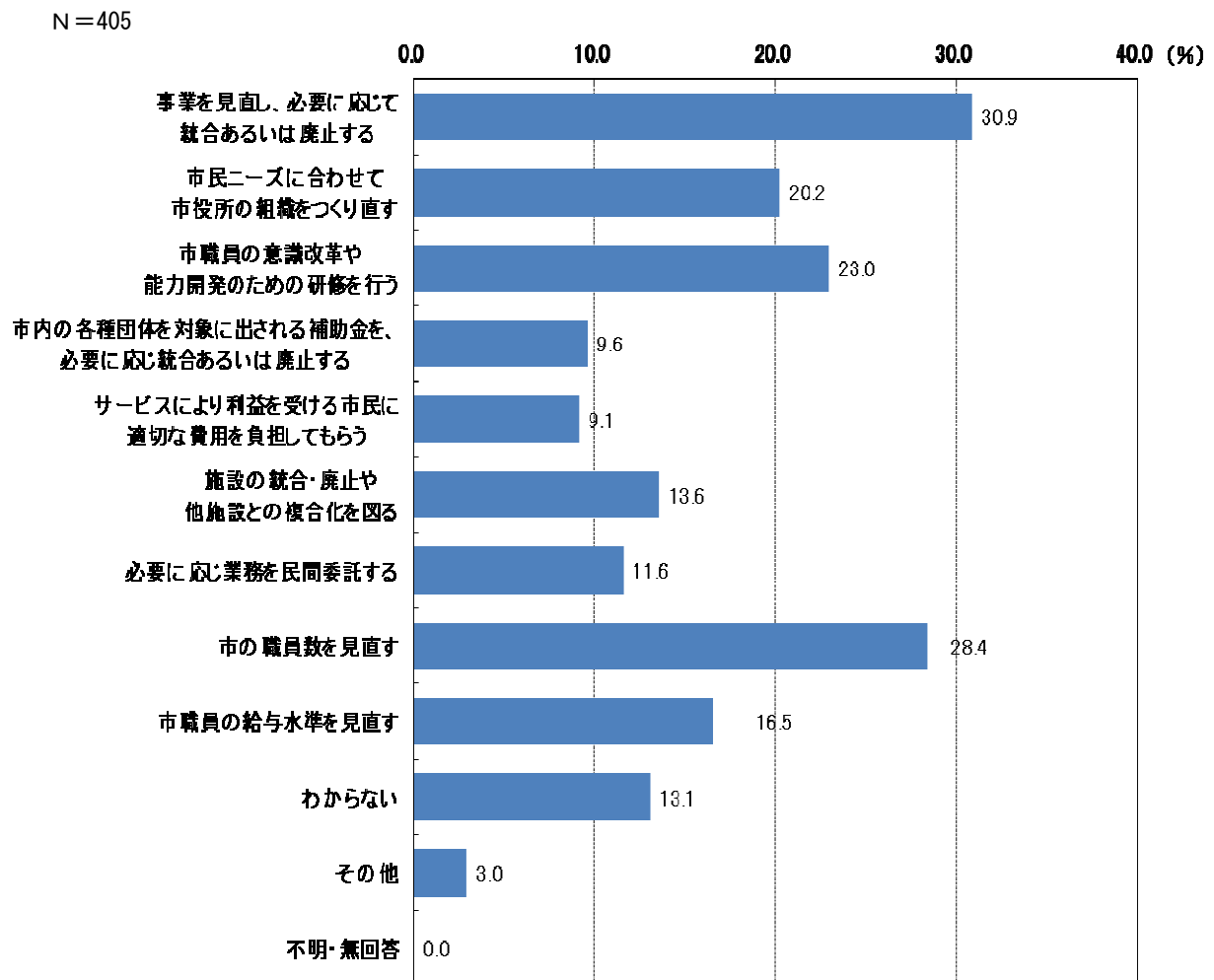


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

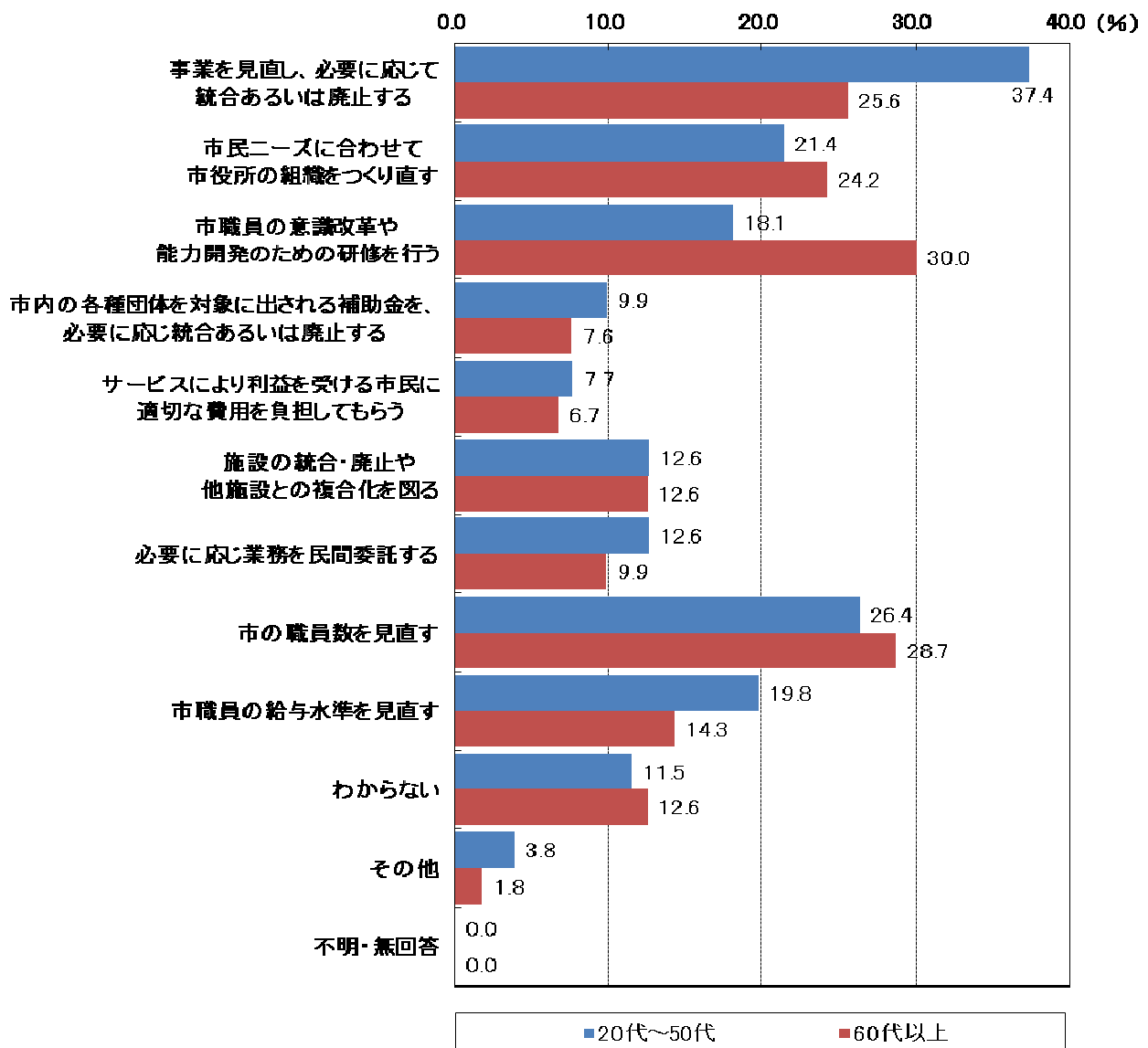
効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止」が30.9%、「市の職員数を見直す」が28.4%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が23.0%となっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「20代～50代」では「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」や「市の職員数を見直す」が、「60代以上」では「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」や「市の職員数を見直す」の割合が高くなっています



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

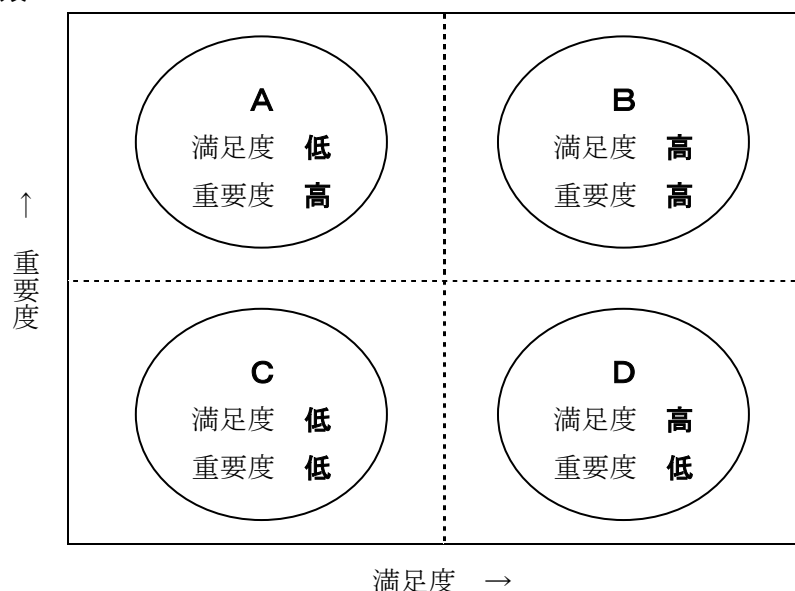
問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」＝5点、「どちらかといえば満足」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば不満」＝2点、「不満」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」＝5点、「どちらかといえば重要」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 38 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

■結果の分類



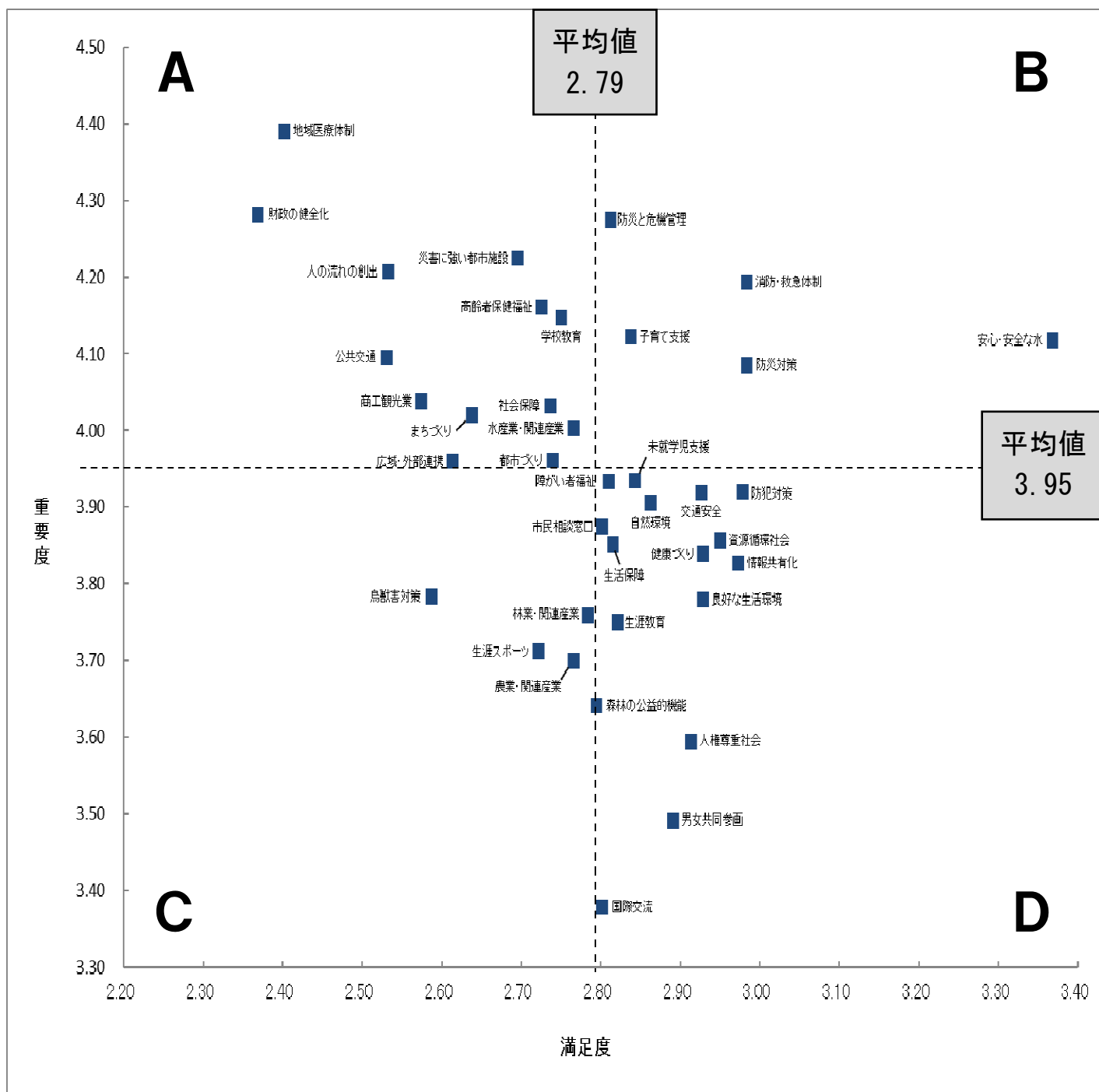
領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 38 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「地域医療体制」「財政の健全化」「人の流れの創出」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

一方で、「人権尊重社会」「男女共同参画」「情報共有化」などがDの領域に分類されています。



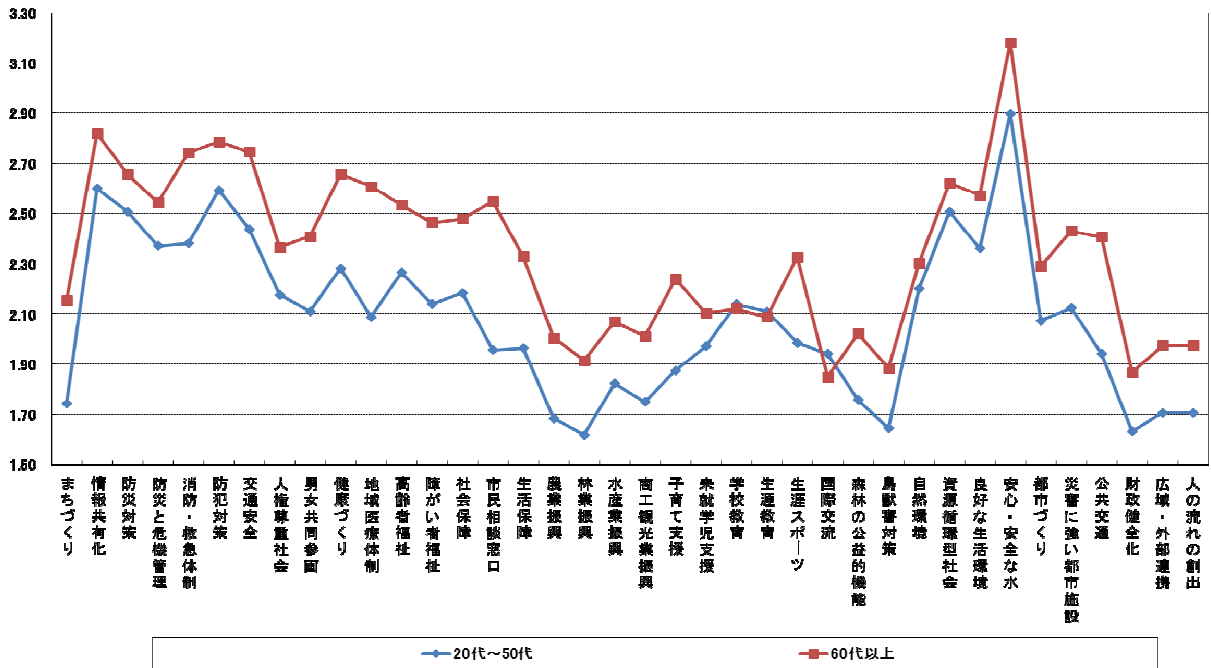
■満足度・重要度一覧

	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.64	4.02
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.97	3.83
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.98	4.09
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.81	4.28
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	2.98	4.19
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じることはない安全で安心な取り組みなど	2.98	3.92
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	2.93	3.92
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.91	3.60
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.89	3.49
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.93	3.84
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.40	4.39
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.73	4.16
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.81	3.93
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.74	4.03
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.80	3.87
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.81	3.85
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.77	3.70
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.78	3.76
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.77	4.00
(20) 商工観光業振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.57	4.04
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.84	4.12
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.84	3.94
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.75	4.15
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.82	3.75
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.72	3.71
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.80	3.38
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.79	3.64

(28)鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.59	3.78
(29)自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.86	3.91
(30)資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再利用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.95	3.86
(31)良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.93	3.78
(32)安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.37	4.12
(33)都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.74	3.96
(34)災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.69	4.22
(35)公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.53	4.10
(36)財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.37	4.28
(37)広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.61	3.96
(38)人の流れの創出 多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど	2.53	4.21
平均	2.79	3.95

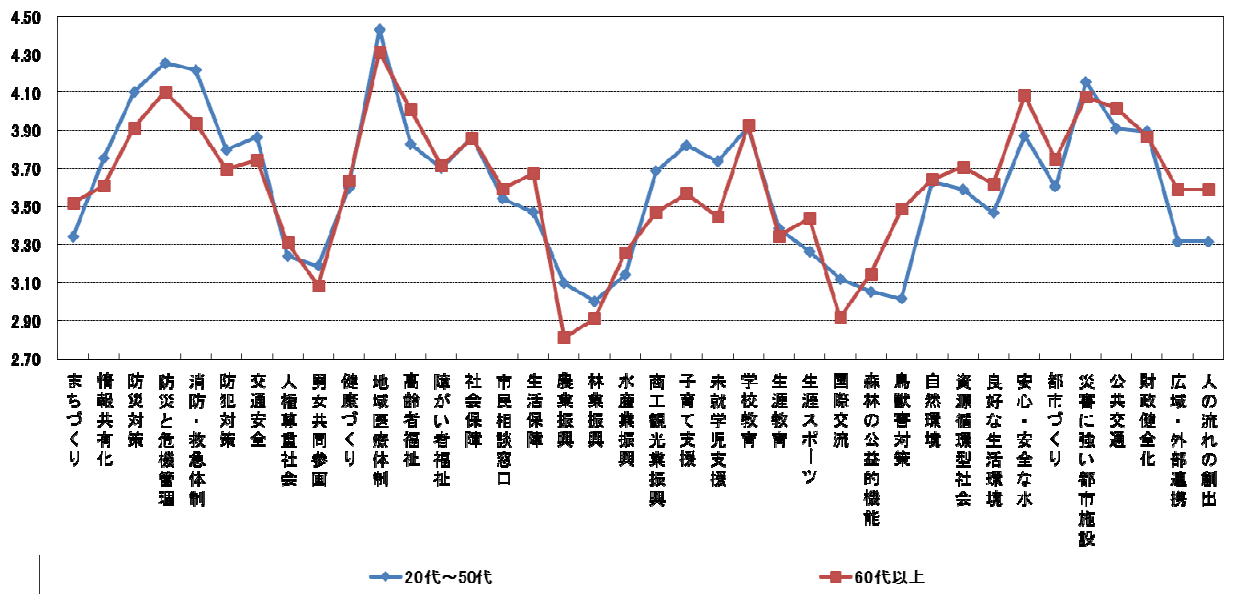
■満足度×年代

満足度について年代別に見ると、ほとんどの項目で「60代以上」の方が高い割合となっていますが、「学校教育」「生涯教育」「国際交流」では「20代～50代」の方が、若干高くなっています。



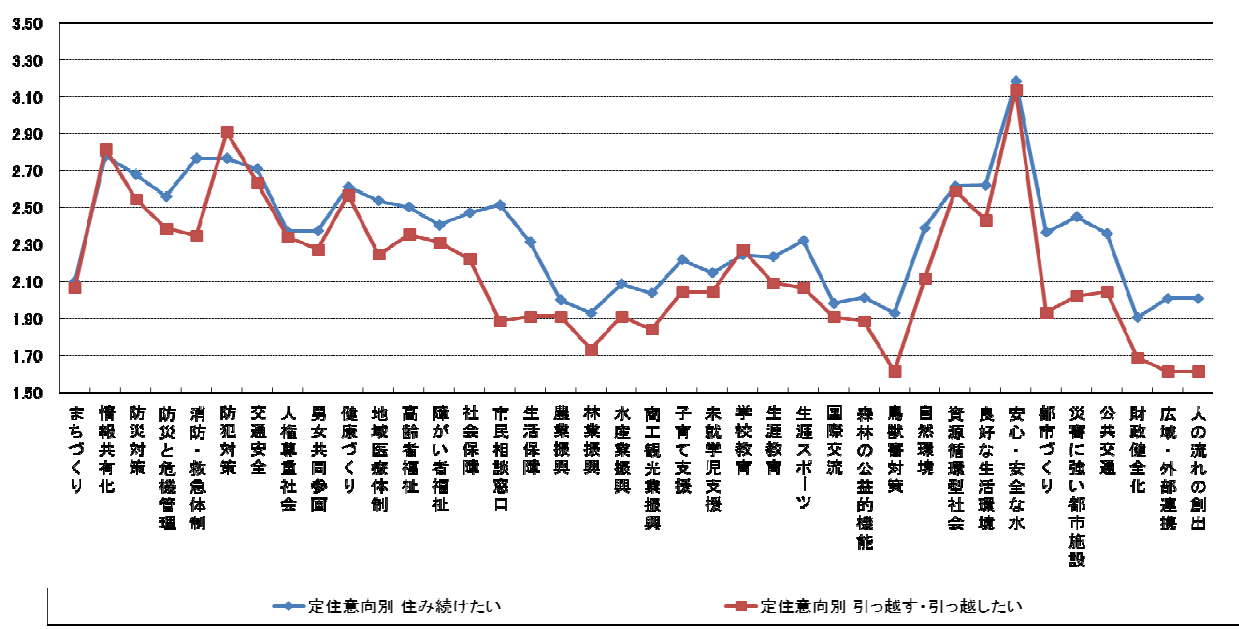
■重要度×年代

重要度について年代別に見ると、全年代で「地域医療体制」の割合が高くなっており、次いで「20代～50代」では「防災対策」や「消防・救急体制」が、「60代以上」では、「防災と危機管理」「安心・安全な水」の割合が高くなっています。



■満足度×定住意向

満足度について定住意向別に見ると、ほとんどの項目で「住み続けたい」の方が高い割合となっており、特に「消防・救急体制」「市民相談窓口」などでは、定住意向によって大きな差が見られます。一方で、「防犯対策」では、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方の割合が高くなっています。



■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、ほとんどの項目で「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方の割合が高くなっており、一方で「高齢者福祉」や「人の流れの創出」などでは「住み続けたい」を選んだ方の割合が高くなっています。

